

ECLIPSE

HDDナビゲーション内蔵
HDD/DVD/MS VGA-AVシステム

AVN8803HD

取扱説明書

オーディオ編

お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくご使用いただくために、



この「取扱説明書」をよくお読みください。

また、お読みになった後も必要なきに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。





FUJITSU TEN

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

 アドバイス	本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと 本機が故障したときにしていただきたいこと
 ワンポイント	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと

はじめに

本書の見方	8
特長	10
ご使用になる前に	12
ディスクについて	13
“メモリースティック”について	16
液晶パネルについて	17
TVについて	17

基本操作

モードの切り替え方	18
モードを切り替える	18
操作画面の表示	18
各モードの操作画面	19
音の調整	20
主音量の調整	20
操作音の設定	20
音質の調整	21
音質設定画面の表示	21
SOUND調整画面を表示する	21
SETTING画面の表示	21
その他の音質調整画面を 表示する	21
DSP（音場）の設定	24
DSP（音場）モードを 設定する	24
DSP（音場）の調整、記憶	24
DSP（音場）レベルを リセットする	24
EQ（イコライザ）の調整	25
音質を設定する	25
EQカーブの調整、記憶	25
EQカーブをリセットする	26
リスニングポジションの設定	27

音量バランスの調整	28
オートLOUDの設定	29
MP3音質補正の設定 （MP3ハーモナイザー）	29
サブウーファの設定	30
位相を切り替える （Phase Control）	30
サブウーファの出力を 調整する	30
サラウンドシステムの調整	31
Dolby Pro Logicを設定する	31
COMPRESSIONを調整する	32
Center Blendを調整する	32
Center Levelを調整する	33
Rear Levelを調整する	33
スピーカーの調整	34
スピーカーサイズを設定する	34
タイムアライメントの調整	36
出力レベルの調整	36
背景画の設定	37
壁紙の設定	37
壁紙を切り替える	37
画像データを書き換える	38
画像データを保存する	40
画像データを消去する	42
画面の調整・設定	43
画質調整画面の表示	43
ライト点灯時に昼画表示に するには	44
画面を消すときは	44
画質の調整	45
優先画面の設定	46
スイッチの表示切り替え	46
画面モード切り替え	47

ラジオの操作

ラジオの使い方	48
ラジオを聞く	48
聞きたい放送局を選ぶ	48
手動で選ぶ	48
自動で選ぶ	48
プリセットスイッチから選ぶ	48
放送局を記憶する	49
マニュアル（手動）で	
記憶する	49
AUTO.P（自動）で記憶する	49
AUTO.Pで記憶した放送局を	
変更する	49
エリアスイッチについて	50
局名スイッチについて	50
ラジオを止める	50

CDプレーヤーの操作

CDプレーヤーの使い方	51
CDを聞く	51
聞きたい曲を選ぶ	52
早送り・早戻しする	52
聞きたい曲を探す	52
同じ曲を繰り返して聞く	52
曲の順番をランダムに聞く	52
CDを止める	52

MP3プレーヤーの操作

MP3プレーヤーの使い方	53
MP3を聞く	53
聞きたいフォルダを選ぶ	54
聞きたい音楽ファイルを選ぶ	54
フォルダ・ファイル切り替え	
スイッチから選ぶ	54

選曲・頭出しスイッチから	
選ぶ	54
早送り・早戻しする	54
1つ上の階層を表示する	54
現在の階層を表示する	55
聞きたい音楽ファイルを探す	55
同じ音楽ファイルを	
繰り返して聞く	55
順番をランダムに聞く	55
音楽ファイル情報などを	
表示する	55
MP3を止める	55
MP3について	56
再生可能なMP3ファイルの	
規格について	56
ID3タグについて	56
使用できるメディアについて	56
使用できるディスクの	
フォーマットについて	57
ファイル名について	58
マルチセッションについて	58
MP3の再生について	58
MP3の演奏時間表示について	58
MP3ファイル、フォルダの	
リスト表示順番	58
MP3ファイルの作り方、	
楽しみ方	59
インターネット上のMP3音楽配信	
サイトから入手する場合	59
音楽CDからMP3ファイルに	
変換する場合	59
CD-R/RWに書き込む場合	59

“メモリースティック”プレーヤーの操作

“メモリースティック”プレーヤー の使い方 ...	60
“メモリースティック”を聞く	60
聞きたい曲を選ぶ	60
早送り・早戻しする	61
聞きたい曲を探す	61
同じ曲を繰り返して聞く	61
曲の順番をランダムに聞く	61
“メモリースティック”を止める ...	61

CDチェンジャーの操作

CDチェンジャーの使い方	62
CDを聞く	62
聞きたい曲を選ぶ	62
早送り・早戻しする	62
聞きたいCDを選ぶ	62
チェンジャー内の全CDから 聞きたい曲やCDを探す ...	63
聞きたい曲を探す	63
聞きたいCDを探す	63
聞きたい曲や同じCDを 繰り返し聞く ...	63
いま聞いている曲を繰り返し 再生する ...	63
いま聞いているCDを繰り返し 再生する ...	63
曲の順番をランダムに聞く	63
いま聞いているCDの中から ランダムに聞く ...	63
チェンジャー内全CDの中から ランダムに聞く ...	63
CDを止める	63

MDチェンジャーの操作

MDチェンジャーの使い方	64
MDを聞く	64
聞きたい曲を選ぶ	64
早送り・早戻しする	64
聞きたいMDを選ぶ	64
チェンジャー内の全MDから 聞きたい曲やMDを探す ...	65
聞きたい曲を探す	65
聞きたいMDを探す	65
聞きたい曲や同じMDを 繰り返し聞く ...	65
いま聞いている曲を繰り返し 再生する ...	65
いま聞いているMDを繰り返し 再生する ...	65
曲の順番をランダムに聞く	65
いま聞いているMDの中から ランダムに聞く ...	65
チェンジャー内全MDの中から ランダムに聞く ...	65
MDのタイトルや曲名などを 表示する ...	65
MDを止める	65

MUSIC JUKEの操作

MUSIC JUKEを お使いになる前に ...	66
MUSIC JUKEの概要	66
MUSIC JUKEの構成について ...	66
プレイモード・プレイリストに ついて ...	67
データベースについて	68
Gracenote CDDBIについて	68

オートタイトリング機能に ついて ... 69	プレイリストの中から聞きたい 曲を探す ... 82
データベース情報を表示する 70	プレイモードの中から聞きたい プレイリストを探す ... 82
データベースを更新する 70	聞きたいトラック (曲) を 繰り返し聞く ... 83
ハードディスクの容量を 確認する ... 71	いま聞いている曲を繰り返し 再生する ... 83
操作の流れについて 72	いま聞いているプレイリストを 繰り返し再生する ... 83
MUSIC JUKEへの録音 73	トラック (曲) の順番を ランダムに聞く ... 83
MUSIC JUKEへの 録音について ... 73	いま聞いているプレイリストの 中からランダムに再生する ... 83
録音できるオーディオモードと 録音方式について ... 73	MUSIC JUKEに保存されている全曲 の中からランダムに再生する ... 83
録音についての注意 73	MUSIC JUKEを止める 83
デジタル録音について 74	プレイリストの編集 84
アナログ録音について 74	プレイリストの作成 84
録音方式の設定 75	プレイリストの名称入力 86
デジタル録音モードを 設定する ... 75	カナ、英字、数・記号の入力 86
オートトラックマークを 設定する ... 76	リスト名称の編集 87
録音ビットレートを設定する 76	プレイリスト・トラックの 並び替え ... 89
MUSIC JUKEへの録音 77	お好みに合わせて並び替える 89
CDを再生しながら自動で 録音する ... 78	作成した順番に並び替える 89
CDの中からお好みのトラック (音楽) を録音する ... 79	プレイリストの消去 90
CDプレーヤー以外のオーディオ モードから録音する ... 79	トラックの編集 91
MUSIC JUKEの使い方 80	トラックの追加 91
MUSIC JUKEを聞く 80	トラックの検索 92
聞きたいトラック (曲) を選ぶ 80	トラック情報の編集 92
選曲・頭出しスイッチから 選ぶ ... 81	トラック編集画面の呼び出し ... 92
プレイモード・プレイリスト 切り替えスイッチから選ぶ ... 81	トラックタイトルを変更する 93
早送り・早戻しする 82	アーティストを変更する 94
聞きたいトラック (曲) を探す 82	ジャンルを変更する 94
	トラックの消去 95

TVの操作

TVの使い方	97
TVを見る	97
見たいチャンネルを選ぶ	98
手動で選ぶ	98
自動で選ぶ	98
プリセットスイッチから選ぶ	98
チャンネルを記憶する	98
マニュアル（手動）で	
記憶する ...	98
AUTO.P（自動）で記憶する ...	98
AUTO.Pで記憶したチャンネルを	
変更する ...	98
マルチチャンネルビューを	
表示する ...	100
TV設定画面の切り替え	100
エリアスイッチについて	101
局名スイッチについて	101
音声多重放送を切り替える	101
TVモードを終わる	101

DVD/VTRの操作

DVDプレーヤーを	
お使いになる前に ...	102
DVDビデオの特長	102
マルチ音声機能について	102
マルチアングル機能	
について ...	102
字幕表示機能について	103
ディスクについて	103
再生できるディスクの種類に	
ついて ...	103
再生可能なディスクの地域番号	
(リージョンコード)について ...	103

再生できるサラウンド	
システムについて ...	104
ディスクに表示されている	
マークについて ...	104
ディスクの構成について	104
操作の流れについて	105
DVDプレーヤーの使い方	106
DVDを見る	106
映像を操作する	106
映像を再生する	106
早送り・早戻しする	107
パネルスイッチから	
早送り・早戻しする ...	107
タッチスイッチから	
早送り・早戻しする ...	107
映像を一時止める	107
映像を止める	107
ディスクメニューを操作する ...	108
DVDを止める	108
見たい映像を探す	108
チャプターから探す	108
タイトル番号から探す	109
メニュー番号から探す	109
タッチスイッチの表示を	
切り替える ...	110
タッチスイッチを消す	110
タッチスイッチの表示場所を	
切り替える ...	110
画面表示・音声の切り替え	111
アングルの切り換え	111
字幕言語の切り替え	112
音声言語の切り替え	112
DVDプレーヤーの設定	113
音声言語を設定する	114
コードを入力する	114

字幕言語を設定する	114
コードを入力する	114
メニュー言語を設定する	115
コードを入力する	115
マルチアングルマーク（アングル選 択マーク）の表示を設定する ...	115
視聴制限を設定する	116
映像出力を切り替える	117
言語コード一覧	118
VTRの使い方	119
VTRを見る	119
VTRモードを終わる	119

マルチウィンドウの操作

マルチウィンドウ機能	120
マルチウィンドウについて	120
マルチメニュー画面	120
マルチウィンドウ画面の操作 ...	122
TV・DVD画面の操作	122
目的地情報画面の操作	123
オーディオ画面の操作	123

ご参考に

知っておいて

 いただきたいこと ... 124

 こんなメッセージが

 表示されたときは ... 124

 故障とお考えになる前に

用語説明

gracenote CDDDBの

 ご利用について ... 133

目的別索引

索引

目的別索引は各機能の説明ページを簡単に検索できます。
操作でお困りのときは、目的別索引から該当の操作を検索
してお使いください。

- 製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。
これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

本書はやさしく取り扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

本書の見方

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとにタイトルがつけられています。

操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。

●本操作

●音の調整

① 主音量の調整

1 VOLスイッチを押します。

- 調整レベルは0~80です。
- ⊕ (上側) : 音量UP (大きくなる)
- ⊖ (下側) : 音量DOWN (小さくなる)



操作音の設定

パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音を設定することができます。

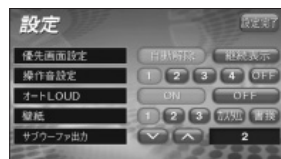
1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。



3 操作音設定の **1**、**2**、**3**、**4**、**OFF** のいずれかにタッチします。

- **OFF** にタッチすると、操作音が解除 (消音) になります。



4 **設定完了** にタッチします。



- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- 音量は、お使いになるオーディオモードに合わせて調整してください。オーディオモードを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。

基本操作

音質の調整

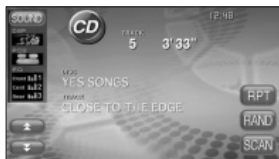
車室内では再生するメディアやお聞きになる音楽の種類、スピーカーからの距離など、さまざまな要因で音本来の性質を大きく変えられてしまいます。本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。

音質調整画面の表示

SOUND調整画面を表示する

1 各オーディオ操作画面、またはTV・VTR・DVD設定画面で**SOUND**にタッチします。

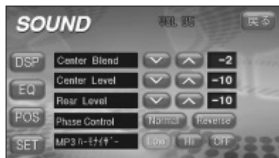
- SOUND調整画面が表示されます。
- SOUND調整画面から23ページの操作を行うことができます。



SETTING画面の表示

2 SOUND調整画面で**SET**にタッチします。

- SETTING画面が表示されます。
- SETTING画面から23ページの操作を行うことができます。



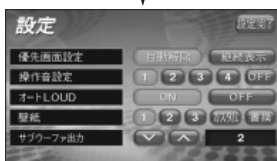
その他の音質調整画面を表示する

1 **INFO**を押します。

- インフォメーション（情報）画面が表示されます。

2 **設定**にタッチします。

- 各設定画面が表示されます。
- 設定画面から23ページの操作を行うことができます。



セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

操作画面

操作する画面を表示しています。

ワンポイント

操作に関連することなどを記述しています。

次のページに続く

次のページに操作説明が続くことを表示しています。

基本操作



ワンポイント

TV、VTR操作画面では**設定**に、DVD操作画面では**NEXT**、**設定**の順にタッチすると**SOUND**が表示されます。

➡ 次ページに続く

21

特長

音楽の録音や画像の保存を可能にしたMUSIC JUKE

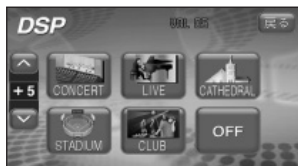
(ミュージックジューク) (80ページ)

大容量の音楽専用ハードディスクを搭載し、各オーディオモードから流れる音楽や音声を、好きなときに簡単に録音できます。大量に録音したデータも種類別に検索し簡単に探し出すことができるほか、編集機能でMUSIC JUKEにあなただけのプライベートアルバムを作成することもできます。



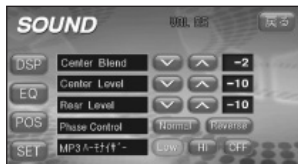
さまざまな演奏会場を擬似的に再現するDSP機能

お聞きになる音楽のジャンルやソースによって、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現し、楽しむことができます。



多様なサラウンド方式に対応する音質調整機能

Dolby Digital(5.1ch) や DTS (5.1ch)、Dolby Pro Logicに対応しており、車室内で映画館やコンサートホールのような迫力ある臨場感を楽しむことができます。



約1/10に圧縮した音楽ディスクを再生するMP3プレーヤー

(53ページ)

MP3形式で編集されたCD-R、CD-RWディスクを再生します。(MP3は一枚のCD-R、CD-RWに音楽アルバム数枚分の曲を収録することができる形式です。)



パソコンや携帯電話などからダウンロードした音楽を再生する"メモリースティック"プレーヤー

(60ページ)

高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術、ATRAC3に対応しています。パソコンや携帯電話などから"MGメモリースティック"にダウンロードした音楽データを再生することができます。



美しい映像と迫力あるサウンドが 楽しめるDVDプレーヤー(106ページ)

高画質・高音質で記録されたDVD-Videoを再生します。

(DVDは、映画1本分に相当する高画質映像と、CDを上回る高音質なデジタルサウンドを記録することができるメディアです。)



お好みの画像を壁紙として 表示する壁紙機能(37ページ)

自分に合わせて3種類の中から壁紙を切り替えて表示することができるほか、CD-R、CD-RW、“メモリースティック”に記録した画像データを取り込み、壁紙として表示することもできます。



複数の番組を同時に表示するTV マルチチャンネルビュー機能

(100ページ)

プリセットされている放送局の番組情報を順次表示します。放送中の番組を一度に確認することができます。



ナビゲーションと各オーディオ 画面などを同時表示するマルチ ウィンドウ機能(120ページ)

ナビゲーションの画面とオーディオ、またはテレビの操作画面を左右分割して同時に表示します。また、オーディオ機能以外に目的地情報や走行情報、時計を表示することができます。



システムアップ

●CDチェンジャー(62ページ)・MDチェンジャー(64ページ)

複数のディスクをノンストップで再生するので、ロングドライブなどのとき便利です。

また、それぞれのチェンジャーの中から聞きたい曲を簡単に探し出し、再生することもできます。

●ビデオ接続コード

別売のビデオ接続コードを接続すると、本機で、ビデオカメラなどの映像をご覧になることができます。

ご使用になる前に



走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



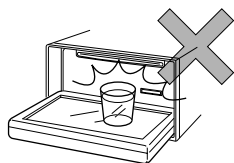
交通事故の原因となります。

走行中運転者はテレビの操作を極力しないでください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。

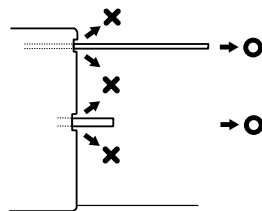


交通事故の原因となります。

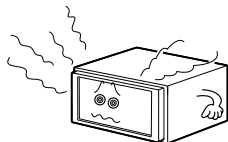
モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。また、モニターを倒したままにしないでください。



故障の原因となります。

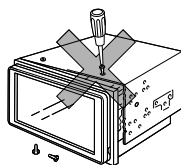


故障したままの使用は絶対しないでください。煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



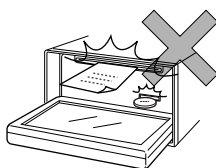
こんなときはすぐにオーディオの電源をOFFにしてください。

分解、改造はしないでください。



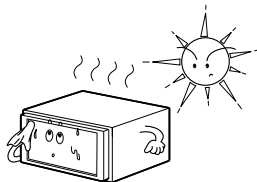
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

差し込み口にはディスクおよび“メモリスティック”以外のものを絶対に入れてください。



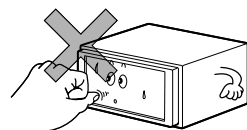
故障の原因となります。

車内温度には注意してください。夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてからお使いください。



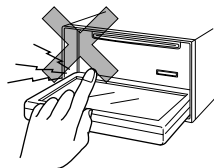
故障の原因となります。

モニターに強い力を加えたりしないでください。



故障の原因となります。

モニター収納時指などを差し込まないように注意してください。



ケガをしたり、故障の原因となります。

本機からディスクまたは“メモリスティック”を取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。

ディスクに傷がつき、音とびをしたり、“メモリスティック”を破損するおそれがあります。

ディスクについて



ワンポイント

- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。
- コピーコントロールCD、レーベルゲートCDは再生できない場合があります。ご使用になる前に必ずディスクに付属されている説明書などをお読みください。



- CD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）は、ディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWやUDFフォーマットで書き込みされたCD-R、CD-RWは再生できません。
- 音楽用CD・映像用DVDは下記のマークのついたディスクが使用できます。



- Dolby Digital(5.1ch)音声やDTS(5.1ch)音声にも対応※1しており下記のマークのついたDVDも使用できます。



※2

※3

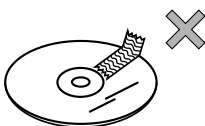
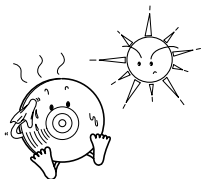
- ※1 Dolby Digital(5.1ch)音声やDTS(5.1ch)音声で再生するためには、別売のセンタースピーカー、サブウーファなどが必要です。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
- ※2 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- ※3 DTS及びDTS Digital Surroundは、Digital Theater System,Inc.の商標です。

ご使用になる前に



ディスクの取扱いについて

- ディスクは直射日光を避け、必ずケースに入れて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。
- ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。

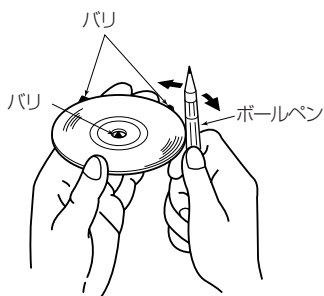


- 記録面に触れないように持ってください。(虹色に光っている面)ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。
- 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。



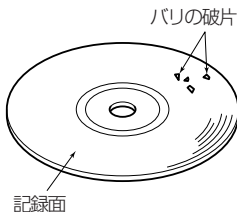
新しいディスクについて

- 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、“バリ”の破片がディスクの信号面に付着し、音とびをする場合があります。



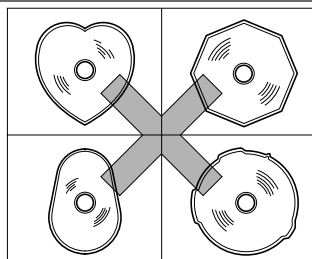
レンタルディスクについて

- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



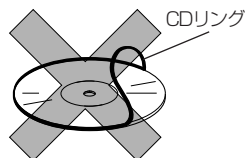
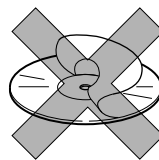
特殊形状のディスクについて

- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



ディスクのアクセサリについて

- 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。
- 音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリ（CDリング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



ご使用になる前に

“メモリースティック” について





- 静電気や電氣的ノイズを受ける恐れのある場所に、“メモリースティック” を放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- “メモリースティック Duo” を使用する場合は、“メモリースティック Duoアダプター” をご使用ください。
- 128MBまでの容量の“メモリースティック” に対応しています。
- “メモリースティック PRO” には対応していません。
- “MG メモリースティック” の再生後およびHDDへデータ転送後は、すみやかに“メモリースティック” を取り出してください。
- 下記のマークの付いた“MG メモリースティック” は使用できます。

MAGIC GATE

- 下記のマークの付いた“メモリースティック” は本機に画像を取り込む場合のみ使用できます。

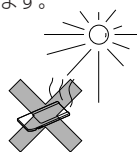
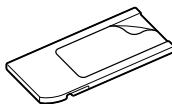


※ “MagicGate Memory Stick” (“マジックゲートメモリースティック”)  “Memory Stick” (“メモリースティック”)  はソニー株式会社の商標です。

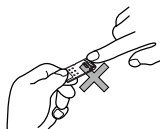
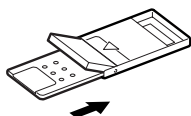
- “メモリースティック” 再生中、またはHDDにデータ転送中は抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- “MG メモリースティック” のフォーマット（初期化）は、専用機器で行ってください。専用機器以外でフォーマットを行った場合、本機で再生できません。

“メモリースティック” の取扱いについて

- いつもよい音を楽しむため、定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってある“メモリースティック” は使用しないでください。
- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。“メモリースティック” が使用できなくなる場合があります。



- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



液晶パネルについて



ワンポイント

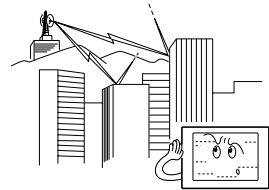
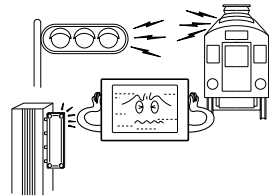
- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

TVについて



ワンポイント

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断られたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。
- 車載TVの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。
 - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
 - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
 - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
 - トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 一部の地域において、TV、ラジオ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。



モードの切り替え方

モードを切り替える

- 1 **SOURCE** を押して、オーディオモードのタッチスイッチにタッチすると、タッチしたモードがスクリーン表示（オンスクリーン表示）されます。



- オンスクリーン画面

操作画面の表示

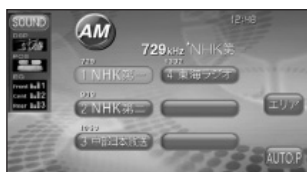
- 1 **CONT** を押します。



各モードの操作画面

各モードの操作画面は、次のように表示されます。

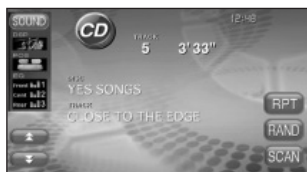
●AM操作画面



●FM操作画面



●CDプレーヤー操作画面



●MP3プレーヤー操作画面



●“メモリースティック”プレーヤー操作画面



●MUSIC JUKE操作画面



●TV操作画面



●DVDプレーヤー操作画面



●CDチェンジャー操作画面(別売)



●MDチェンジャー操作画面(別売)



「優先画面の設定」(46ページ)で画面の切り替えを自動解除に設定すると、操作画面を表示させてから約20秒以上(TV・DVD操作画面では約6秒以上)操作をしなかったときは、操作画面は自動解除されオンスクリーン表示に切り替わり、その後もとの画面にもどります。また、画面の切り替えを継続表示に設定すると、操作画面は自動解除されずに継続して表示されます。

音の調整

主音量の調整

1 VOLスイッチを押します。

- 調整レベルは0~80です。

- + (上側) : 音量UP (大きくなる)
- (下側) : 音量DOWN (小さくなる)



操作音の設定

パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音を設定することができます。

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。



3 操作音設定の **1**、**2**、**3**、**4**、**OFF** のいずれかにタッチします。

- **OFF** にタッチすると、操作音が解除 (消音) になります。



4 **設定完了** にタッチします。



ワンポイント

- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- オーディオモードを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるオーディオモードに合わせて調整してください。
- DVDプレーヤーを再生中に音量を調整すると、DVDプレーヤー用の音量レベルとして記憶させることができます。
- DVDプレーヤー再生中に調整した音量レベルは、他のオーディオモードでは機能しません。DVDモードの前に使用していたオーディオモードで調整した音量レベルになります。

音質の調整

車室内では再生するメディアやお聞きになる音楽の種類、スピーカーからの距離など、さまざまな要因で音本来の性質を大きく変えられてしまいます。

本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。

音質調整画面の表示

SOUND調整画面を表示する

1 各オーディオ操作画面、またはTV・VTR・DVD設定画面で**SOUND**にタッチします。

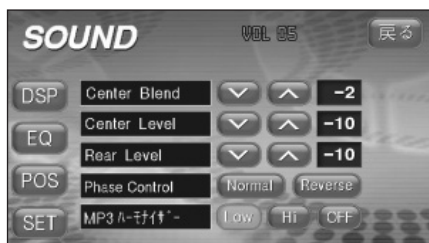
- SOUND調整画面が表示されます。
- SOUND調整画面から23ページの操作を行うことができます。



SETTING画面の表示

2 SOUND調整画面で**SET**にタッチします。

- SETTING画面が表示されます。
- SETTING画面から23ページの操作を行うことができます。



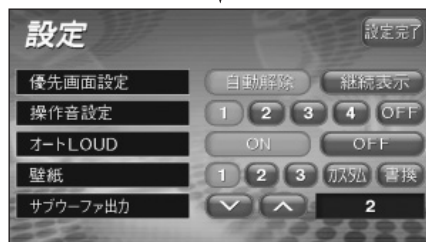
その他の音質調整画面を表示する

1 **INFO**を押します。

- インフォメーション（情報）画面が表示されます。

2 **設定**にタッチします。

- 各設定画面が表示されます。
- 設定画面から23ページの操作を行うことができます。



ワンポイント

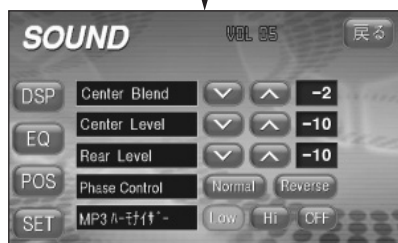
TV、VTR操作画面では**設定**に、DVD操作画面では**NEXT**、**設定**の順にタッチすると**SOUND**が表示されます。

音質の調整

●SOUND調整画面からの操作の流れ



SOUND

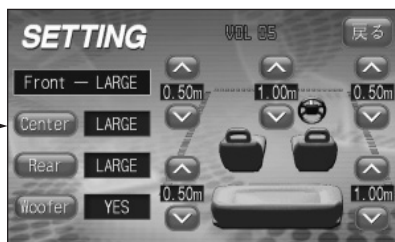
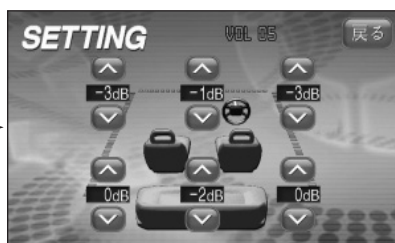


SET



SPレベル

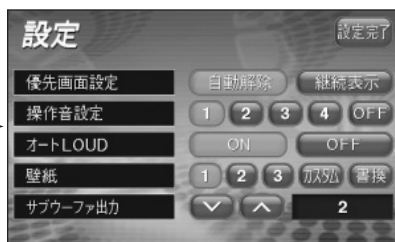
SP設定



●インフォメーション（情報）画面からの操作の流れ



設定



■簡単にできる音場・音質調整

項目・タッチスイッチ	機能	ページ
DSP	お聞きになる音楽のジャンルやソースに合わせて音場を調整することができます。	24
EQ	あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択したり、お好みのイコライザカーブを作成することができます。	25
POS	乗車位置や人数に合わせた音像定位の切り替えや、前後左右の音量バランスを調整することができます。	27
オートLOUD	小音量時の低・高音を強調することができます。	29

■MP3で圧縮された音楽に効果のある音質補正レベル調整

項目	機能	ページ
MP3ハーモナイザー	圧縮された音楽データをできるだけ原音に戻して再生する音質補正レベルを設定することができます。	29

■サブウーファー接続時の出力・位相調整

項目	機能	ページ
Phase Control	サブウーファの位相を切り替えることができます。	30
サブウーファ出力	サブウーファの出力を調整することができます。	30

■サラウンドシステムの調整

項目	機能	ページ
Dolby Pro Logic	Dolby Pro Logic機能のON、OFFを切り替えることができます。	31
COMPRESSION	ダイナミックレンジ（最大音と最小音の音量差）を調整することができます。	32
Center Blend	Dolby Digital/DTS/LPCM/SDDS対応のDVDビデオを再生する場合に、通常、センタースピーカーから聞こえる会話やセリフなどを左右のフロントスピーカーにブレンドし、センターの音像定位を調整することができます。	32
Center Level	Dolby Digital/DTS/LPCM/SDDS対応のDVDビデオを再生する場合に、センタースピーカーから聞こえる会話やセリフなどの出力レベルを調整することができます。	33
Rear Level	Dolby Digital/DTS/LPCM/SDDS対応のDVDビデオを再生する場合に、リアスピーカーから聞こえる効果音などの出力レベルを調整することができます。	33

■タイムアライメント・スピーカーサイズ調整

タッチスイッチ	機能	ページ
SP設定	スピーカーサイズの設定やタイムアライメントを設定します。	34,36
SPレベル	スピーカーの出力レベルを調整します。	36

音質の調整

DSP（音場）の設定

再生する音楽に残響音を加え、あらかじめ設定されているさまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

DSP（音場）モードを設定する

1 **DSP** にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類	タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール	STADIUM	野外スタジアム
LIVE	ライブハウス	CLUB	ディスコ、クラブ
CATHEDRAL	残響音の多い教会	OFF	DSP OFF

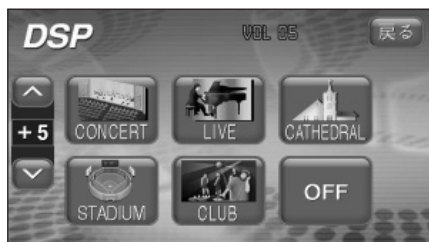
DSP（音場）の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのDSP（音場）をお好みのレベルに調整、記憶することができます。

1 お好みの音場モードで、**▲**、**▼** にタッチします。

●調整レベルは+側、-側各5段階です。

2 調整した音場モードを“ピーツ”と音がするまでタッチします。



DSP（音場）レベルをリセットする

現在、記憶されているDSP（音場）レベルをメーカー調整値（初期値）にもどすことができます。

1 **OFF** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

●音場レベルが初期値にリセットされます。



●次のとき、DSPは操作できません。

- DVDビデオをDolby Digital (5.1ch)、またはDTS (5.1ch) 方式で再生するとき
- Dolby Pro Logicが“AUTO”、または“ON”に設定されているとき（「**Dolby Pro Logicを設定する**」(31ページ)）
- DSP（音場）レベルを調整中に、別のDSP（音場）モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。

EQ (イコライザ) の調整

お聞きになる音楽ジャンルやソースによって好みの音質で聞けるようにイコライザで音質を調整できます。

また、フロント、リヤ、センターと各スピーカーを別々に設定することができます。

音質を設定する

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、好みの音質に設定できます。

1 **EQ** にタッチします。

2 **Front**、**Center**、または **Rear** にタッチします。



3 タッチスイッチにタッチすると、表のような音質モードになります。

● 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

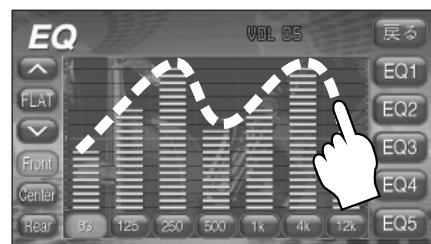
タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ補正なし
EQ1	POPSに効果のあるカーブ
EQ2	ROCKに効果のあるカーブ
EQ3	JAZZに効果のあるカーブ
EQ4	CLASSICに効果のあるカーブ
EQ5	VOCALに効果のあるカーブ

EQカーブの調整、記憶

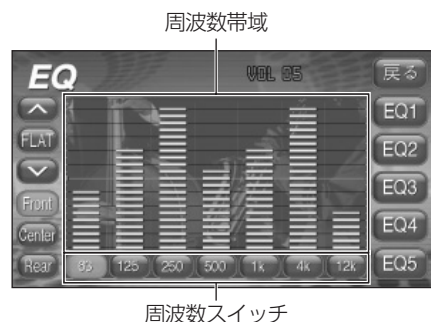
あらかじめ設定されているイコライザカーブをお好みの音質に調整、記憶することができます。また、フロント、リヤ、センターと各スピーカーを別々に調整、記憶することができます。

1 **Front**、**Center**、または **Rear** にタッチします。

2 お好みのイコライザカーブをイメージして指でゆっくり画面をタッチします。



● 微調整するときは、調整したい周波数帯域、または周波数スイッチにタッチし、画面左の **▲**、**▼** にタッチします。



音質の調整

3 記憶したいスイッチ **EQ1** ~ **EQ5** を “ピーツ” と音がするまでタッチします。

- 記憶されたイコライザカーブで設定できるようにになります。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザカーブをあらかじめ設定されているイコライザカーブ（メーカー初期値）にもどすことができます。

1 イコライザカーブを呼び出します。

2 **FLAT** を “ピーツ” と音がするまでタッチします。

- イコライザカーブが初期値にリセットされます。



ワンポイント

- フロント、リヤ、センターは、同時に調整できません。
- 微調整時に **▲**、**▼** にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 **▲**、**▼** にタッチしてください。

リスニングポジションの設定

人数、乗車位置に合わせて、音場感が楽しめる音像定位に切り替えることができます。各シートにタッチして簡単に音像定位を切り替えることができます。

1 **POS** にタッチします。

2 ポジション（シート）にタッチします。

- 設定されたポジションは橙色に表示が替わります。再びタッチすると設定は解除されます。表のような4つのポジションに設定できます。
- **OFF** にタッチすると、全ての設定は解除されます。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



表示	ポジション（位置）	表示	ポジション（位置）
	運転席を 中心にした音場		前席を 中心にした音場
	助手席を 中心にした音場		後席を 中心にした音場



音量バランス（BALANCE FADER）と同時に設定できません。

音質の調整

音量バランスの調整

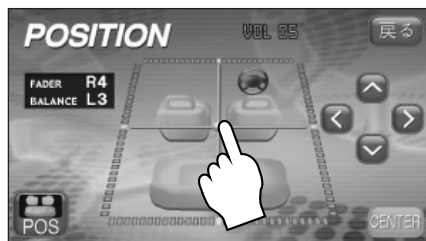
前後左右の音量バランスを調整し、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

1 **POS** にタッチします。

2 **BALANCE FADER** にタッチします。

3 お好みのバランスポイントにタッチします。

- 微調整するときは、**▲**、**▼**、**◀**、または**▶**にタッチしてください。
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。
- **CENTER** にタッチすると、音量バランスの設定がリセットされます。(設定値が0になります。)



ワンポイント

- リスニングポジション (POS) と同時に設定できません。
- 微調整時に **▲**、**▼**、**◀**、または **▶** にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値になった場合は停止するので、再度 **▲**、**▼**、**◀**、または **▶** にタッチしてください。

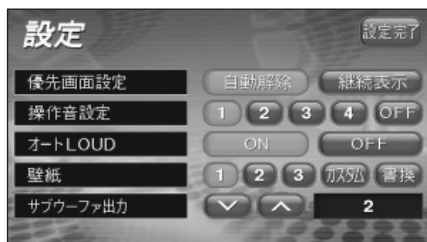
オートLOUDの設定

小さな音で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。

3 オートLOUDの **ON**、または **OFF** にタッチします。



4 **設定完了** にタッチします。

MP3音質補正の設定 (MP3ハーモナイザー)

原音からMP3に変換するとき、通常人間の耳に聞こえない音域が圧縮されます。MP3ハーモナイザーはその圧縮された音域をできるだけ原音に戻して再生することができます。クリアで迫力あるサウンドを楽しむことができます。

1 **Low**、または **Hi** にタッチします。

- **Low** : 補正効果が小さい
- **Hi** : 補正効果が大きい
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。
- **OFF** にタッチすると、MP3ハーモナイザー機能を解除します。



音質の調整

サブウーファの設定

サブウーファを接続したときの位相切り替え（出力タイミングの切り替え）や出力調整を設定します。

位相を切り替える（Phase Control）

サブウーファから出力される音の中には、フロント/リヤスピーカークの音と同じ周波数帯域のものがあり、さまざまな車内条件により、これらの音が互いに打ち消しあってしまうことがあります。この現象を防ぐものがサブウーファの位相切り替えです。

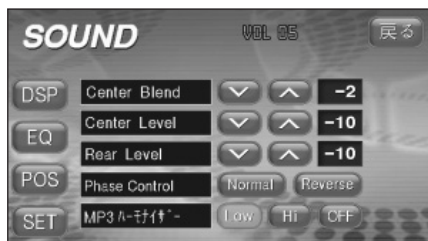
車内条件に合わせて位相をNormal（フロント/リヤスピーカークとサブウーファの出力タイミングを同じにする）またはReverse（フロント/リヤスピーカークとサブウーファの出力タイミングをずらす）に設定することができます。

1 **Normal**、または **Reverse** にタッチします。

● **Normal** : 各スピーカークとサブウーファの出力タイミングを同じにする

Reverse : 各スピーカークとサブウーファの出力タイミングをずらす

● 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



サブウーファの出力を調整する

サブウーファの出力レベルを調整することができます。

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。

3 サブウーファ出力の **▲**・**▼** にタッチします。

● 出力レベルは4段階の設定ができます。



4 **設定完了** にタッチします。

サラウンドシステムの調整

本機は、Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)、LPCM、SDDS、Dolby Pro Logicに対応しており、これらの方式で記録されているDVDビデオを再生すると、限られた空間でも、映画館のような臨場感あふれるサウンドを楽しむことができます。

ch (チャンネル) … 同時に再生することのできる音源の数

Dolby Pro Logicを設定する

本機でDolby Pro Logic処理されたDVDビデオを再生する場合、ドルビー効果のON、OFFを切り替えることができます。

ドルビー効果をONにすると、2chで録音されている名画や旧作品も豊かな臨場感で楽しむことができます。

1 SOUND調整画面で **SET** にタッチします。

2 **AUTO**、**ON**、または**OFF** にタッチします。

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。
- お好みにより、各タッチスイッチにタッチしてDolby Pro Logicの設定を切り替えることができます。



タッチスイッチ	機能
AUTO	Dolby Pro Logicで処理されたDVDビデオを再生する場合はドルビー効果をON、それ以外はOFFにします。
ON	2chで記録されたDVDビデオを再生する場合、全てドルビー効果をONにします。
OFF	ドルビー効果をOFFにします。



Dolby Digital(5.1ch)やDTS(5.1ch)音声で再生するためには、センタースピーカー、サブウーファが必要です。(詳しくは、販売店にお問い合わせください。)

音質の調整

COMPRESSIONを調整する

Dolby Digital(5.1ch)対応のDVDビデオを再生する場合に、音域の幅(最大値と最小値の差)を調整することができます。COMPRESSIONレベルが大きくなると、音域の幅が狭くなり、効果音などが大きい場面でも会話やセリフなどが聞きとりやすくなります。

1 SOUND調整画面で**SET**にタッチします。

2 **▲**・**▼**にタッチします。

●**▼**にタッチし続けると“OFF”に、**▲**にタッチし続けると“Full”になります。調整レベルと機能については下記を参照してください。

調整レベルの表示が切り替わるのに、約2秒ほどかかります。

●調整完了後、**戻る**にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



調整レベル	機能
OFF	COMPRESSIONの効果をOFFにします。
1~7	COMPRESSIONの効果をお好みに合わせて調整することができます。
Full	COMPRESSIONの効果を最大にします。

Center Blendを調整する

Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)対応のDVDビデオを再生する場合に、通常、センタースピーカーから聞こえる会話やセリフなどを、フロントスピーカー(左右)にブレンドし、センターの音像定位を調整することができます。

1 **▲**、または**▼**にタッチします。

- 調整レベルは+側、-側各5段階です。
 - +側：フロントスピーカーにブレンドするレベルを大きくする
 - 側：フロントスピーカーにブレンドするレベルを小さくする
- 調整完了後、**戻る**にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



Dolby Pro Logic処理されたDVDビデオを再生する場合、Dolby Pro Logicが“OFF”に設定されていると、Center Blendは調整できません。Dolby Pro Logicを“AUTO”、または“ON”に切り替えてから調整してください。
「Dolby Pro Logicを設定する」
 (前ページ参照)

Center Levelを調整する

Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)対応のDVDビデオを再生する場合に、センタースピーカーから聞こえる会話やセリフなどの出力レベルを調整して、会話やセリフなどを聞きとりやすくすることができます。

1 ▲、または▼にタッチします。

- 調整レベルは+側、-側各10段階です。
+側：出力レベルが強くなる
-側：出力レベルが弱くなる
- 調整完了後、**戻る**にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



Rear Levelを調整する

Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)対応のDVDビデオを再生する場合に、リアスピーカーから聞こえる効果音などの出力レベルを調整することができます。

1 ▲、または▼にタッチします。

- 調整レベルは+側、-側各10段階です。
+側：出力レベルが強くなる
-側：出力レベルが弱くなる
- 調整完了後、**戻る**にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



Dolby Pro Logic処理されたDVDビデオを再生する場合、Dolby Pro Logicが“OFF”に設定されていると、Center Level、Rear Levelは調整できません。Dolby Pro Logicを“AUTO”、または“ON”に切り替えてから調整してください。**「Dolby Pro Logicを設定する」**(31ページ参照)

音質の調整

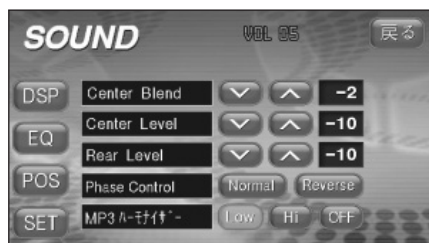
スピーカーの調整

各スピーカーからお聞きになる位置までの距離調整（タイムアライメント）や各スピーカーの出力調整により、全体的な音のバランスを調整し、理想的な音像定位を創り出すことができます。

スピーカーサイズを設定する

お車のスピーカーサイズを設定することができます。

- 1 SOUND調整画面で **SET** にタッチします。



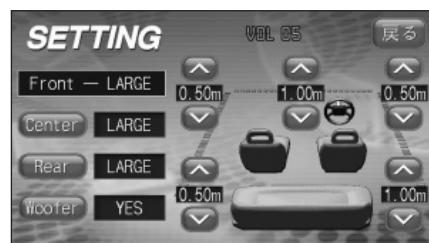
- 2 **SP設定** にタッチします。

●スピーカー設定画面が表示されます。



- 3 スピーカーサイズおよびWoofer（ウーファ）の有無を選択します。

●各タッチスイッチはタッチするごとに下記のように切り替わります。



●スピーカー設定画面

タッチスイッチ	スピーカーサイズの切り替わり方
Center	LARGE → SMALL
Rear	↖ NONE ↗
Woofer	YES ↔ NO

各スピーカーの設定と機能

スピーカーの種類	接続	サイズ	機能
Center (センタースピーカー)	無	NONE	センタースピーカーからの出力は、フロント左右のスピーカーに振り分けられ出力されます。 センタースピーカーから出力されません。
	有	SMALL	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。 (100Hz以下の低域は出力されません。)
		LARGE	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。
Rear (リヤスピーカー)	無	NONE	リヤスピーカーからの出力は、フロント左右のスピーカーに振り分けられ出力されます。 リヤスピーカーから出力されません。
	有	SMALL	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。 (100Hz以下の低域は出力されません。)
		LARGE	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。
Woofer (ウーファ)	有	YES	ウーファスピーカーから出力されます。
	無	NO	ウーファスピーカーから出力されません。



ワンポイント

- DVDビデオを再生する場合は、必ずスピーカーサイズおよびWoofer (ウーファ) の接続を設定してください。お車のスピーカーに合わせて設定していないと、映画のセリフや効果音が音声出力されない場合があります。
- Frontはあらかじめ“LARGE”に固定されています。
- モノラル方式のDVDビデオはセンタースピーカーからのみ音声出力されます。センタースピーカーを接続している場合は、Centerを“NONE”に設定してください。センタースピーカーからの音声をフロント左右のスピーカーに振り分けて出力します。

音質の調整

タイムアライメントの調整

1 SOUND調整画面で **SET** にタッチします。

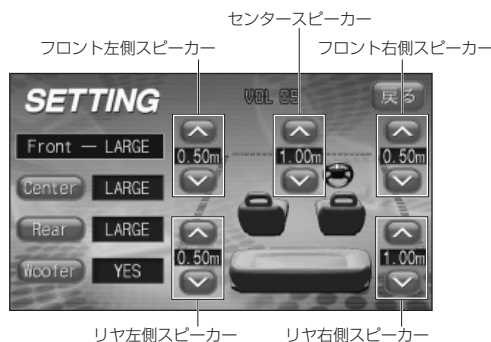
2 **SP設定** にタッチします。

●スピーカー設定画面が表示されます。

3 **▲**・**▼** にタッチして、各スピーカーからお聞きになる位置までの距離を設定します。

●設定範囲は0~4mです。距離の数値が小さくなると、スピーカーから出る音が遅れて耳に届くようになります。

●調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



出力レベルの調整

1 SOUND調整画面で **SET** にタッチします。

2 **SPレベル** にタッチします。

●スピーカーレベル設定画面が表示されます。

3 **▲**・**▼** にタッチして、各スピーカーの出力レベルを設定します。

●設定範囲は、-12~0dBです。レベル数値が小さくなると、スピーカーから出力される音量が小さくなります。

●調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



ワンポイント

●スピーカーが接続されていない場合や、スピーカーサイズの設定で“Center”、“Rear”、“Woofer”を“NONE”または“NO”に設定した場合に、お聞きになる位置までの距離や各スピーカーの出力レベルを調整しても機能しません。

●リスニングポジション (POSITION) の設定で、シートが選択されていると、ウーファ以外の各スピーカー出力レベルは調整できません。リスニングポジション (POSITION) を“OFF”に切り替えてから設定してください。「リスニングポジションの設定」(27ページ参照)

背景画の設定

オーディオ操作画面やインフォメーション（情報）画面の背景画をお好みの壁紙に切り替えることができます。

壁紙の設定

インフォメーション（情報）画面やオーディオの操作画面の背景をお好みに合わせて切り替え、表示することができます。また、あらかじめHDDやCD-R/RW、“MG メモリースティック”、“メモリースティック”に記録した画像データを取り込むこともできるので、お気に入りの壁紙を背景画として表示することができます。

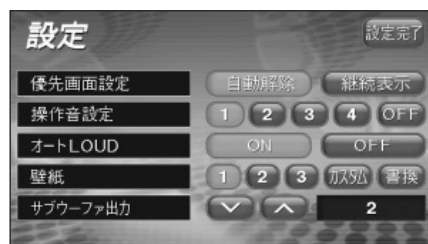
壁紙を切り替える

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。



3 壁紙の **1**、**2**、**3**、**カスタム** のいずれかにタッチします。



- **カスタム** にタッチすると書き換えた画像が設定されます。（画像データを書き換えていない場合、**カスタム** はタッチできません。）
- 画像の書き換えは次ページを参照してください。

4 **設定完了** にタッチします。

背景画の設定

画像データを書き換える

HDDやCD-R/RW、“MG メモリースティック”、“メモリースティック”に記録した画像データを壁紙として表示することができます。

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。

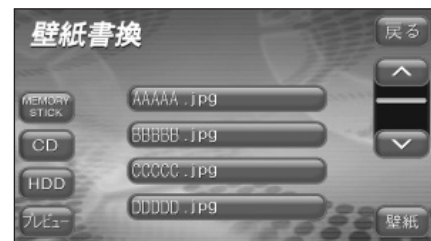


3 壁紙の**書換** にタッチします。



4 **MEMORY STICK**、**CD**、または**HDD** にタッチします。

5 壁紙に設定するデータにタッチします。



6 **壁紙** にタッチします。



ワンポイント

- 画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことはできません。
- HDD（ハードディスク）から書き換える場合は、あらかじめHDDに画像データを保存してください。（「**画像データを保存する**」40ページ参照）
- CD-R/RWから書き換える場合は、記録したCD-R/RWをCD・DVD差し込み口に差し込んでください。
- “メモリースティック”から書き換える場合は、記録した“メモリースティック”を、“メモリースティック”差し込み口に差し込んでください。
- MUSIC JUKEに音楽や音声を録音している場合は、録音を止めてから画像データを書き換えてください。（「**MUSIC JUKEへの録音**」（77ページ参照））
- 複数のデータがある場合は、**▲**、**▼**にタッチすると、データを切り替えて表示することができます。

- **プレビュー** にタッチすると、選択した画像を表示することができます。



● プレビュー画面

- 7 **戻る** にタッチします。

- 8 **カスタム** にタッチします。

- 設定した壁紙が表示されます。



- 9 **設定完了** にタッチします。



ワンポイント

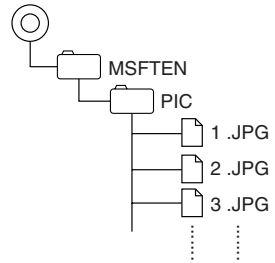
● 壁紙に使用できる取り込み画像は下記の条件で書き込まれたメディアになります。下記の条件以外で書き込まれたファイルは、リスト表示できなかつたり、ファイル名を正しく表示できない場合があります。

【CD-R/RWの場合】

- ディスクフォーマット：ISO9660規格 (MODE1)
- 画像容量：1.5MB以下 (1ファイル当たり)
- 表示ファイル名：ISO9660 LEVEL1方式
- 表示拡張子：.jpg (JPEG2000は非対応)
- 書き込み方式：シングルセッションのみ
- 表示とファイル数 (枚数)：100まで
- 画像サイズ：横800×縦480dot以下
- 表示文字数：半角8文字* (+.jpg) まで
*半角数字、半角英字 (大文字)、記号 “_” (アンダースコア) のみ
- 表示ファイル：ルートディレクトリのみ (最上階層のみ)

【“メモリースティック” の場合】

- 画像容量：1.5MB以下 (1ファイル当たり)
- 表示ファイル名：半角8文字.JPG
- 表示拡張子：.jpg (JPEG2000は非対応)
- 表示とファイル数 (枚数)：100まで
- 画像サイズ：横800×縦480dot以下
- 表示文字数：半角8文字* (+.jpg) まで
*半角数字、半角英字 (大文字)、記号 “_” (アンダースコア) のみ
- 表示ファイル：下記作成例を参照してください。



- 推奨サイズを超える場合は、プレビューおよび取り込みできません。
- 推奨サイズより小さい場合は、縦横ともセンタリング (中央表示) して表示します。
- 画像データの取り込みは1画面のみになります。

背景画の設定

画像データを保存する

CD-R/RWや“MG メモリースティック”、“メモリースティック”に記録した画像データを本機のHDDに最大100ファイル（100枚）まで保存することができます。

1 **INFO** を押します。

2 **次ページ** にタッチします。



3 **データ管理** にタッチします。



4 **HDDへ保存** にタッチします。

●データ保存画面が表示されます。



5 **MEMORY STICK**、または **CD** にタッチします。

●タッチしたメディアに保存されている画像データを表示します。



ワンポイント

- 画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことはできません。
- CD-R/RWからHDDに保存する場合は、記録したCD-R/RWをCD・DVD差し込み口に差し込んでください。
- “メモリースティック”からHDDに保存する場合は、記録した“メモリースティック”を“メモリースティック”差し込み口に差し込んでください。音楽と画像データが混在する“メモリースティック”で、“メモリースティック”の音楽を再生中に画像データを保存する場合、音楽の再生が一時停止します。保存が完了してから音楽を再生してください。
- MUSIC JUKEに音楽や音声を録音している場合は、録音を止めてから画像データを保存してください。[MUSIC JUKEへの録音]（77ページ参照）

6 保存したい画像データにタッチします。

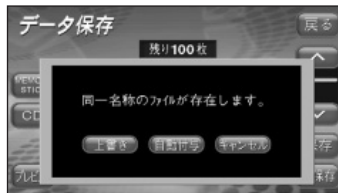


7 **保存** にタッチします。

- **全保存** にタッチすると“MG メモリースティック”、または“メモリースティック”、CDに記録されている全ての画像データを保存します。
- 保存後、**戻る** にタッチすると、直前の画面にもどります。

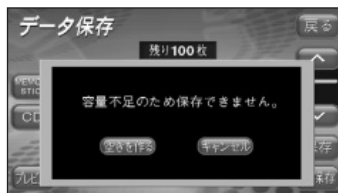


- すでに同じ名称のデータが存在すると、次の画面が表示されます。



- **上書き** にタッチすると、新しいデータに書き換えます。
- **自動付与** にタッチすると、データ名の前に番号を付けて保存します。
(例) “AA1.jpg” がすでに存在する場合、新しく保存する同じ名称の “AA1.jpg” には “001_AA1.jpg” と番号が自動で付けられ、保存されます。
- **キャンセル** にタッチすると、保存を中止します。
- **全保存** タッチ後に **キャンセル** にタッチすると、保存中の画像データ保存を中止し、次の画像データの保存を開始します。

- HDDの容量が足りない場合、次の画面が表示されます。



- **空きを作る** にタッチすると、すでに保存されているデータを一部消去します。
(「画像データを消去する」次ページ参照)
- **キャンセル** にタッチすると、保存を中止します。

背景画の設定

画像データを消去する

画像データを本機のHDDから消去します。

1 **INFO** を押します。

2 **次ページ** にタッチします。

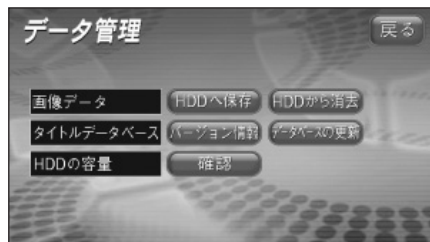


3 **データ管理** にタッチします。



4 **HDDから消去** にタッチします。

●データ消去画面が表示されます。



5 画像データにタッチします。

6 **消去** にタッチします。

●**全消去** にタッチするとHDDに保存されている全ての画像データを消去します。



7 **YES** にタッチします。



現在、壁紙で使用している画像データを消去すると、初期設定の壁紙に切り替わります。

画面の調整・設定

オーディオの操作画面や、TV、DVDなどの画質を調整したり、操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示させなくすることができます。また、操作画面などを自動解除、または継続表示に設定することができます。

画質調整画面の表示

オーディオ操作画面のコントラストや明るさ、TV、DVD、VTR画面のコントラストや明るさ、色などを調整することができます。

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の消灯・点灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。

- (初期状態) ●ライト消灯時…<昼画表示>
●ライト点灯時…<夜画表示>

<オーディオ操作画面>



●昼画表示<ライト消灯時>



●夜画表示<ライト点灯時>

<TV・DVD・VTR画面>



●昼画表示<ライト消灯時>



●夜画表示<ライト点灯時>

画面の調整・設定

1 オーディオモードの操作画面、またはTV、DVD、VTR画面で **マルチW** を（ピーと音がするまで）1秒以上押します。

2 調整が完了したら、**調整完了** にタッチします。

●約20秒以上操作をしなかったときは、自動で設定し表示していた画面にもどります。



●オーディオ操作画面時



●TV・DVD・VTR画面時

ライト点灯時に昼画表示にするには

1 **昼画面** にタッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。



●オーディオ操作画面時



●TV・DVD・VTR画面時

画面を消すときは

1 **画面消** にタッチします。

●再度、画面を表示させるには、**SOURCE** を押します。



「優先画面の設定」(46ページ)で画面の切り替えを自動解除に設定すると、操作画面を表示させてから約20秒以上操作をしなかったときは、画面に何も表示されなくなります。(**画面消** にタッチした状態にもどります。)

画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。



●オーディオ操作画面時



●TV・DVD・VTR画面時

■色合い (TV・DVD・VTR画面時のみ)

1 緑色を強くするときは**緑**、赤色を強くするときは**赤**にタッチします。

■コントラスト

1 強くするときは**強**、弱くするときは**弱**にタッチします。

■色の濃さ (TV・DVD・VTR画面時のみ)

1 濃くするときは**濃**、淡くするときは**淡**にタッチします。

■明るさ

1 明るくするときは**明**、暗くするときは**暗**にタッチします。

画面の調整・設定

優先画面の設定

インフォメーション（情報）画面、オーディオ・MUSIC JUKE・TV・DVD・VTR操作画面を表示させて、約20秒以上操作しなかったとき、自動的に「解除する（もとの画面にもどる）」、または「継続表示」に切り替えることができます。

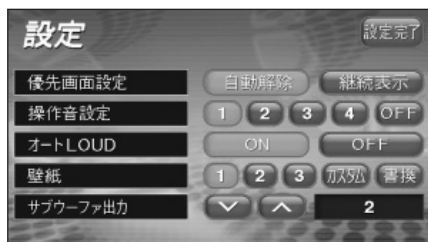
1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。



3 優先画面設定の **自動解除**、または **継続表示** にタッチします。

●各画面を継続して表示させるには **継続表示** にタッチしてください。



4 **設定完了** にタッチします。



ワンポイント

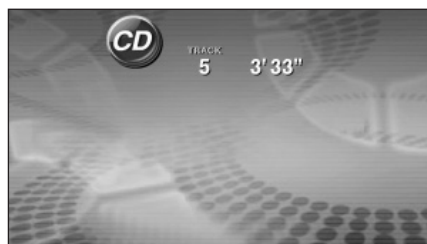
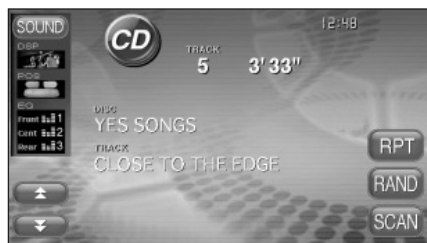
優先画面設定を **自動解除** に設定すると、オーディオ操作画面を表示しても、自動でナビゲーション画面に切り替わります。
オーディオ操作画面を表示させる場合は、**CONT** を押してください。また、ACCをOFFからONにしたときに、オーディオ操作画面を表示させる場合も、同様に **CONT** を押してください。

スイッチの表示切り替え

オーディオの操作画面や、TV・DVD・VTRなどの設定画面でタッチスイッチを表示させないようにすることができます。

1 各オーディオの操作画面、またはTV・DVD・VTR設定画面で、**SOURCE** を押します。

- タッチスイッチが表示されていないときは、タッチスイッチによる操作をすることができません。操作をするときは、タッチスイッチを表示させてください。
- タッチスイッチを表示させるときは、画面にタッチします。



画面モード切り替え

1 TV、VTR操作画面で**設定**、DVD操作画面では**NEXT**、**設定**の順にタッチします。

2 **ワイドモード** にタッチします。

●ワイドモード切り替え画面になります。

3 **標準**、**ワイド1**、**ワイド2**、または**ワイド3** にタッチします。

●ワイドモードを選択します。



■標準画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



■ワイド2画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に非均等に拡大して表示します。



■ワイド1画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



■ワイド3画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。

●ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。



お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ラジオの使い方



ラジオを聞く

1 **SOURCE** を押します。

2 AMは **AM** に、FMIは **FM** にタッチします。

聞きたい放送局を選ぶ

手動で選ぶ

1 **▲**、または **▼** を押します。

- **▲** (上側) : 1ステップ上げるとき
- **▼** (下側) : 1ステップ下げるとき
(1ステップ: AM9kHz、FM: 0.1MHz)

プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- 放送局の記憶は「**放送局を記憶する**」(次ページ)を参照してください。

自動で選ぶ

1 **▲**、または **▼** を“ピツ”と音がするまで押します。

- 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。



受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは**AUTO.P**、または**エリア**（次ページ参照）にタッチすると、AUTO.Pまたはエリアからマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 **AUTO.P** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- “AUTO.P”が表示され自動的に選局を始めます。“ピーツ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。
- もう一度**AUTO.P**にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶した放送局を変更する

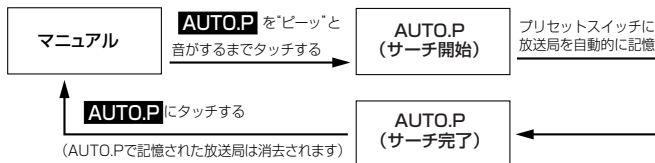
1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P動作中、または動作後に**AUTO.P**にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態にもどります。（このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

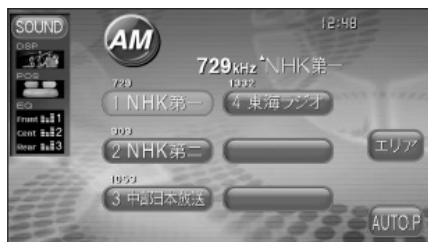
ラジオの使い方

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

1 エリア にタッチします。

- “AREA.P” の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
- 表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 局名 にタッチします。

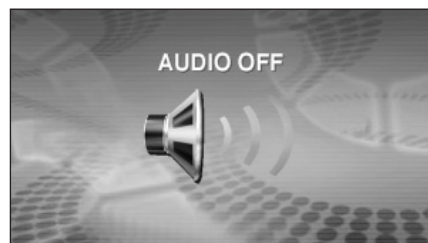
- 重複した放送局名が切り替わります。



ラジオを止める

1 PWR を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと、電源を切る前の受信放送局（周波数）が受信されます。



ワンポイント

放送が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

CDプレーヤーの使い方



CDを聞く

ディスク差し込み口にCDを差し込むと、再生を始めます。

- 本機のMUSIC JUKEは、デジタル録音モードの初期設定がAUTOに設定されているので、CDを差し込み、自動で再生が始まると、同時に自動でMUSIC JUKEへ録音を開始します。

●**REC** を1秒以上押すと録音を停止します。

- 録音待機中は“REC”を表示し、録音中は“REC”が回転します。(以前、録音を途中で停止し、全ての曲が録音されていないCDアルバムを再生している場合は、CDアルバム内の全曲の録音が完了するまで、“REC”を表示します。[MUSIC JUKEへの録音] (77ページ参照)

- 1 CDが差し込まれているときに **SOURCE** を押します。

- 2 **CD** にタッチします。

- 再生を始めます。



- CDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。
- 表示文字数は半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字まで表示できます。CD-TEXT表示は、収録タイトル文字数の多いディスクでは表示できない文字があります。
- 同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合は、最初のセッションに記録されているデータのみ再生することができます。

CDプレーヤーの使い方

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 ▲、または▼を押します。

- ▲（上側）：次曲を選ぶとき
- ▼（下側）：前曲を選ぶとき

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 ▲、▼を“ピッ”と音がするまで押す、または▲、▼にタッチし続けます。

- ▲（上側）：曲を進めるとき
- ▲▲
- ▼（下側）：曲を戻すとき
- ▼▼

“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたい曲を探す

1 **SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度**SCAN**にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ曲を繰り返して聞く

1 **RPT** にタッチします。

- 一度**RPT**にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度**RPT**にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 **RAND** にタッチします。

- 一度**RAND**にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度**RAND**にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

CDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度**PWR**を押すと再生が再開されます。

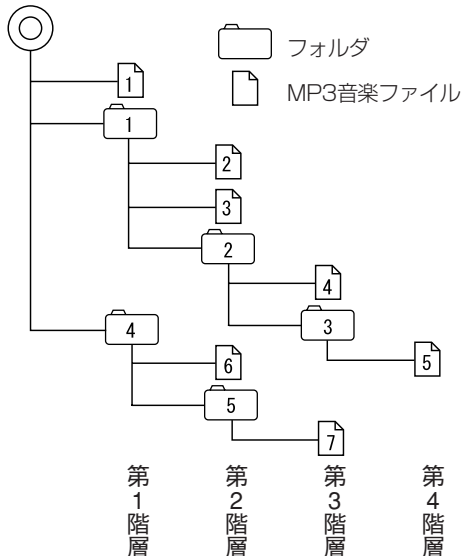
MP3プレーヤーの使い方

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



〈MP3ファイル作成例〉

ここでの操作説明は、MP3ファイル作成例をもとに説明しています。



MP3を聞く

ディスク差し込み口にCDを差し込むと、再生を始めます。

1 ディスクが差し込まれているときに **SOURCE** を押します。

2 **MP3** にタッチします。

- 再生を始めます。
- CDを差し込むと、差し込まれたCDが音楽CDかMP3かをチェックするため、約2秒間CDプレーヤーの画面を表示します。
- 通常は、① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥ → ⑦ の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に再生します。



- CDにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは半角文字では最大8文字まで、全角文字では最大4文字まで表示できます。**TITLE** にタッチすると、半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字まで表示できます。（「音楽ファイル情報などを表示する」55ページ参照）
- 同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合は、最初のセッションに記録されているデータのみ再生することができます。

MP3プレーヤーの使い方

聞きたいフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 フォルダ () にタッチします。



- 選択されたフォルダ内の音楽ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

フォルダ・ファイル切り替えスイッチから選ぶ



1 音楽ファイル () にタッチします。

- 表示部にいま選ばれているファイル名、フォルダ名が表示されます。
- 同じフォルダ内に音楽ファイルが8個以上ある場合は、  にタッチするとデータを切り替えて表示することができます。(走行中は操作できません)

選曲・頭出しスイッチから選ぶ



同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、選曲・頭出しスイッチから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。



1 , または  を押します。

-  (上側) : 次の音楽ファイルを選ぶとき
-  (下側) : 前の音楽ファイルを選ぶとき

早送り・早戻しする


いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 ,  を“ピッ”と音がするまで長く押しします。

-  (上側) : 曲を進めるとき
 -  (下側) : 曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

1つ上の階層を表示する

再生している階層よりも1つ上の階層のフォルダ、ファイルを表示します。



1  にタッチします。

- 表示している1つ上の階層のフォルダ、ファイルを画面に表示します。



フノポイント

MP3ファイル作成例については前ページを参照してください。

画面に“”、“”、“”の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されている時に  にタッチすると、“”、“”、“”の第1階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

現在の階層を表示する

再生しているファイルを表示します。

- 1 **HOME** にタッチします。

聞きたい音楽ファイルを探す

- 1 **SCAN** にタッチします。

- 再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルを曲の始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度**SCAN**にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ音楽ファイルを繰り返して聞く

- 1 **RPT** にタッチします。

- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 一度**RPT**にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度**RPT**にタッチすると解除されます。

順番をランダムに聞く

- 1 **RAND** にタッチします。

- 再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルの中から任意にファイルを選び出し再生します。
- 一度**RAND**にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度**RAND**にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

音楽ファイル情報などを表示する

- 1 **TITLE** にタッチします。

- ファイルの情報を表示中は、**TITLE** が**TITLE OFF**に切り替わり、**TITLE OFF**にタッチするとフォルダ／ファイル切り替えスイッチが表示が切り替わります。

MP3を止める

- 1 **PWR** を押します。

- もう一度**PWR**を押すと再生が再開されます。



ワンポイント

- MP3ファイル作成例については53ページを参照してください。
第3階層の **4** を再生中、画面に "**2**"、"**3**"、"**2**" の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されているときに **HOME** にタッチすると、"**4**"、"**3**" の第3階層のフォルダ、ファイルが表示されます。
- 再生中の音楽ファイル情報を表示します。表示文字数は、半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字です。

MP3プレイヤーの使い方

MP3について

MP3 (MPEG Audio レイヤ3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。本機で使用できるMP3ファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットに制限があります。MP3ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

- 対応規格 : MPEG Audio レイヤ3 (=MPEG1 Audio LayerⅢ)
- 対応サンプリング周波数 : 16、22.05、24、32、44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート : 32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160、192、224、256、320 (kbps)
※VBRに対応しています。
※フリーフォーマットには対応していません。
※MPEG1、2でビットレートが異なります。
- 対応チャンネルモード : ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

ID3タグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

本機はID3v.1.0、ID3v1.1のID3タグに対応しています。また、日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

使用できるメディアについて

MP3の再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。

なお、CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合再生できない場合や音飛びする場合があります。

一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2です。

日本語を含むフォルダ名／ファイル名を使用することもできますが、この場合はRomeo形式で書き込まないと文字化けします。(Jolietには対応していません。)

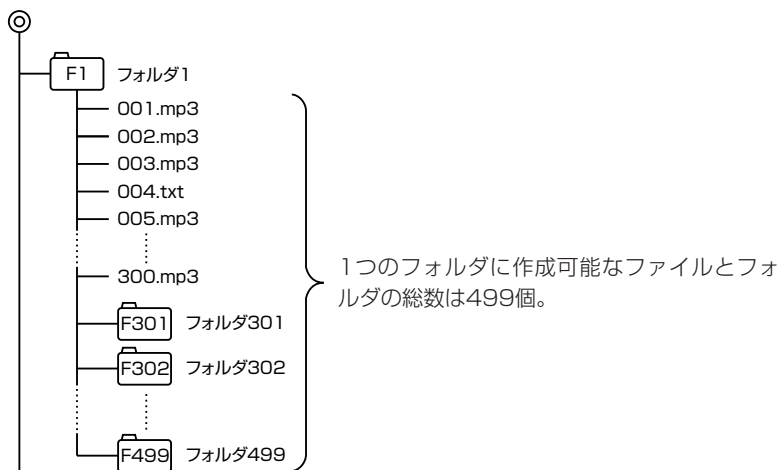
また、この場合は特に下記制限に注意してください。

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数 : 半角31文字 (区切り文字 "." + 拡張子3文字を含む) 日本語1文字は半角2文字として扱われるため文字数が減ります。
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字 : A～Z、0～9、_ (アンダースコア)
日本語 (シフトJIS)
- 1つのフォルダ内に書き込み可能なファイルとフォルダの総数 : 499個

<MP3対応CDの構造例>



- 一枚のディスクに書き込み可能なフォルダ、ファイルの総数 : 499個

MP3プレーヤーの使い方

ファイル名について

MP3と認識し再生するファイルはMP3の拡張子 ".MP3" (*1) が付いたものだけです。MP3ファイルには、"MP3" の拡張子を付けて保存してください。
(*1)：拡張子名 "MP" は大文字でも小文字でもかまいません。

マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3ファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、"Track at once" で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

MP3の再生について

MP3ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると最初のMP3ファイルを再生します。チェックが終わるまで"MP3データを読み込み中です"が表示されます。(最大10分程度)
なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3の演奏時間表示について

MP3ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。
※VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3ファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3ファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3ファイル、フォルダを次のように表示します。

1. MP3ファイルを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示
2. 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示



MP3以外のファイルに"MP3"の拡張子を付けると、MP3ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3以外のファイルに、"MP3"の拡張子を付けしないでください。

MP3ファイルの作り方、楽しみ方

MP3ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。ISDN回線ならば、1曲約15分から25分ぐらいでダウンロードできます（ただし、回線接続状況によります）。

音楽CDからMP3ファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3エンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3エンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3形式の音楽データファイルができます。12cmの音楽CD1枚（最大74分収録／データ容量650MB）が約65MBのデータ量（約10分の1）になります。

CD-R/RWに書き込む場合

MP3ファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトでISO9660レベル1またはレベル2（拡張フォーマット含まず）という記録フォーマットに設定して書き込みます。



ワンポイント

- 安定した音質で再生するために、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数を推奨します。
- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコードの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。

“メモリスティック” プレーヤーの使い方

本機は、ATRAC3（オーディオ圧縮技術）で“MG メモリスティック”に記録された音楽データを再生することができます。



“メモリスティック”を聞く

“メモリスティック”差し込み口に“MGメモリスティック”を差し込み、**CLOSE**にタッチします。

1 “MGメモリスティック”が差し込まれているときに**SOURCE**を押します。

2 **MEMORY STICK**にタッチします。

●再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 **▲**、または**▼**を押します。

- **▲** (上側) : 次曲を選ぶとき
- **▼** (下側) : 前曲を選ぶとき



- 本機は、“MGメモリスティック”（白色）に記録されている音楽データのみ再生することができます。
- ATRAC3 Plusで記録された音楽データは再生することができません。
- “MGメモリスティック”を差し込むと、約4秒間、データ確認のため操作できなくなります。
- “MGメモリスティック”にアーティスト名や曲名（トラック名称）などが記録されているときは表示することができます。また、表示文字数は半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字まで表示できます。
- 再生可能回数、または期限が制限されている場合は、画面に回数および期限を表示します。
- 再生可能回数、または期限が切れた場合は、メッセージを表示します。（125ページ参照）

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 ▲、▼を“ピッ”と音がするまで押す、または▲、▼にタッチし続けます。

- ▲ (上側) : 曲を進めるとき
▲
- ▼ (下側) : 曲を戻すとき
▼

“ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

聞きたい曲を探す

1 **SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度**SCAN**にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ曲を繰り返して聞く

1 **RPT** にタッチします。

- 一度**RPT**にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度**RPT**にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 **RAND** にタッチします。

- 一度**RAND**にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度**RAND**にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

“メモリースティック”を止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度**PWR**を押すと再生が再開されます。

CDチェンジャーの使い方

別売のCDチェンジャーを接続すると操作できます。



CDを聞く

- 1 **SOURCE** を押します。

- 2 CDチェンジャー1台を接続している場合は **CD CHANGER 1** に、CDチェンジャー2台を接続している場合は **CD CHANGER 1**、または **CD CHANGER 2** にタッチします。

聞きたい曲を選ぶ

「CDプレーヤーの使い方」(52ページ)を参照してください。

早送り・早戻しする

「CDプレーヤーの使い方」(52ページ)を参照してください。

聞きたいCDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいCDを選ぶことができます。

- 1 ディスク切り替えスイッチにタッチします。

● 選択されたCDの番号が反転します。



ワンポイント

ディスク切り替えスイッチは、CDチェンジャーに挿入できるCDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。

チェンジャー内の全CDから 聞きたい曲やCDを探す

聞きたい曲を探す

「CDプレーヤーの使い方」(52ページ)を参照してください。

聞きたいCDを探す

1 **DISC SCAN** にタッチします。

- CDチェンジャー内、全CDの1曲目に録音されている曲を、最初の10秒間だけ順に再生します。もう一度 **DISC SCAN** にタッチすると、そのまま再生を続けます。

聞きたい曲や同じCDを 繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

「CDプレーヤーの使い方」(52ページ)を参照してください。

いま聞いているCDを繰り返し再生する

1 **DISC RPT** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているCDの中からランダムに聞く

「CDプレーヤーの使い方」(52ページ)を参照してください。

チェンジャー内全CDの中からランダムに聞く

1 **DISC RAND** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

CDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

MDチェンジャーの使い方

別売のMDチェンジャーを接続すると操作できます。



MDを聞く

1 **SOURCE** を押します。

2 **MD CHANGER** にタッチします。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 **▲**、または **▼** を押します。

- **▲** (上側) : 次曲を選ぶとき
- **▼** (下側) : 前曲を選ぶとき

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 **▲**、**▼** を“ピツ”と音がするまで押す、または **▲▲**、**▼▼** にタッチし続けます。

- **▲** (上側) : 曲を進めるとき
- **▼** (下側) : 曲を戻すとき

“ピツ”と音がすると早送り (早戻し) モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り (早戻し) します。

聞きたいMDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいMDを選ぶことができます。

1 ディスク切り替えスイッチにタッチします。

- 選択されたMDの番号が反転します。



ワンポイント

● MDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。
TITLE にタッチすると、半角文字では最大28文字まで表示できます。

● ディスク切り替えスイッチは、MDチェンジャーに挿入できるMDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。

チェンジャー内の全MDから聞きたい曲やMDを探す

聞きたい曲を探す

1 **SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

聞きたいMDを探す

1 **DISC SCAN** にタッチします。

- MDチェンジャー内、全MDの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **DISC SCAN** にタッチすると、そのまま再生を続けます。

聞きたい曲や同じMDを繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

1 **RPT** にタッチします。

- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** をタッチすると解除されます。

いま聞いているMDを繰り返し再生する

1 **DISC RPT** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているMDの中からランダムに聞く

1 **RAND** にタッチします。

- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。

チェンジャー内全MDの中からランダムに聞く

1 **DISC RAND** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

MDのタイトルや曲名などを表示する

1 **TITLE** にタッチします。

- タイトルや曲名などの表示中は、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わり、**TITLE OFF** にタッチするとディスク切り替えスイッチに表示が切り替わります。

MDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

MUSIC JUKEをお使いになる前に

MUSIC JUKEの概要

MUSIC JUKEはCDやラジオなどで再生されている音楽・音声をATRAC3（アトラックスリー）圧縮技術で圧縮し、録音することができます。録音には、CDプレーヤーからCDアルバムを録音すると、「Gracenote CDDDB®音楽認識サービス」により、アルバム名やアーティスト名、ジャンルを検索し、該当する名称でリスト（プレイリスト）を自動で作成するデジタル録音*と、CDプレーヤー以外のオーディオモードから録音し、録音したオーディオモードや録音日別にプレイリストを自動で作成するアナログ録音があります。

※…該当する名称が検索できなかった場合は、アナログ録音と同じ条件でプレイリストを作成します。

MUSIC JUKEの構成について

MUSIC JUKEは、録音された音楽・音声を6種類のプレイモードに大きく分類し、各プレイモードに作成したプレイリストに細かくグループを分けて管理することができます。聞きたい音楽は、プレイモードやプレイリストから絞り込んで検索することができるので便利です。



プレイモード

録音した音楽（トラック）を6つの再生モード（アルバム、アーティストやジャンルなど）で分けています。

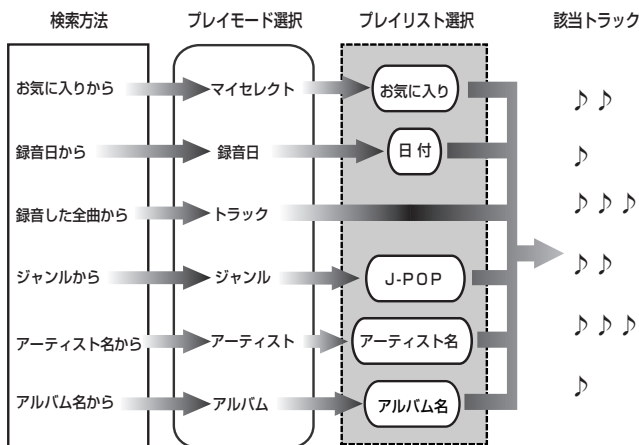


トラック

録音した音楽、音声データ

プレイリスト

各プレイモード（再生モード）ごとに録音した音楽（トラック）をそれぞれの種類別に分けています。



プレイモード・プレイリストについて

本機は、録音した音楽を種類や録音条件によってグループ分けして、MUSIC JUKEに保存します。

録音した音楽は、5種類のプレイモードの中に自動で作成された、アルバム名別やアーティスト別、ジャンル別のグループに分けられます。また、お好みの曲だけを集めたグループを作成することもできます。

プレイモード	プレイリスト
アルバム	録音すると、トラックを収録したプレイリストを作成します。オートタイトリング機能でアルバム名が付与された場合アルバム名がプレイリスト名になります。オートタイトリング機能でアルバム名が付与されなかった場合は日付／オーディオモード／番号がプレイリスト名になります。
マイセレクト	お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストです。編集作業で新規作成することができます。
トラック	プレイリストはありません。
アーティスト	<ul style="list-style-type: none"> ●オートタイトリング機能で、録音された曲のアーティスト名が付与された場合、アーティスト名でプレイリストを作成します。 ●録音されたトラックの情報に新規でアーティスト名を入力し、プレイリストを作成することができます。
ジャンル	オートタイトリング機能で、録音された曲のジャンルが付与された場合、ジャンルでプレイリストを作成します。
録音日	録音した日付別にプレイリストを作成します。



MUSIC JUKEには、最大999個*のプレイリストを作成ことができ、1つのプレイリストには最大99曲*までトラックを録音することができます。録音可能なトラックの総数は最大3000曲*です。

※…録音時間や録音モードによって、作成可能なプレイリスト数や録音可能なトラック数は異なります。

MUSIC JUKEをお使いになる前に

データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをMUSIC JUKEにデジタル録音した場合、ハードディスクに収録されているGracenote CDDDBデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。

本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote CDDDBのデータベース情報を使用しています。

Gracenote CDDDBについて

Gracenote is CDDDB, Inc. d/b/a "Gracenote."

CD and music-related data from Gracenote CDDDB®

Music Recognition Service © 2000, 2001, 2002 Gracenote.

Gracenote CDDDB Client Software © 2000, 2001, 2002 Gracenote.

米国特許番号 5,987,525, 6,061,680, 6,154,773 その他特許取得済みまたは申請中。

CDDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteロゴ及びロゴタイプ、Gracenote CDDDBロゴ及びロゴタイプ、ならびに"Powered by Gracenote CDDDB"ロゴは、Gracenoteの商標です。音楽認識サービスとMRSはGracenoteのサービスマークです。

音楽認識技術及び関連データは、Gracenote及びthe Gracenote CDDDB Music Service により提供されています。Gracenoteは音楽認識技術及び関連コンテンツ配信分野での業界標準です。

より詳しい情報は、www.gracenote.comをご覧ください。

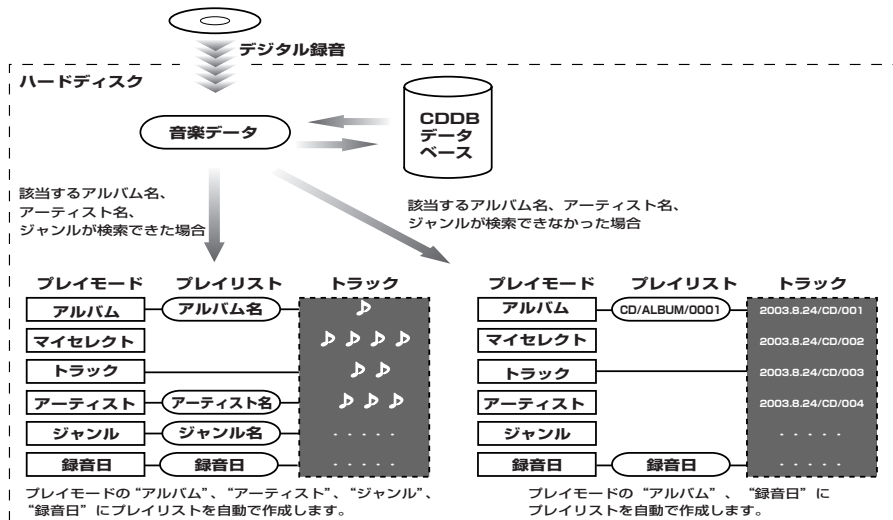


「Gracenote CDDDB®音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

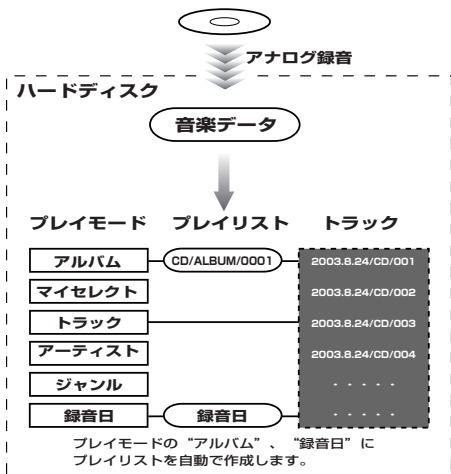
オートタイトリング機能について

本機は、録音した音楽を録音条件やデータベースからのタイトル情報によって自動でプレイリストを作成し、グループ分けします。

デジタル録音



アナログ録音



デジタル録音時にタイトル情報が付与できなかったものや、アナログ録音時には下記の情報を付与し、下記のプレイモードにプレイリストを作成します。

アルバムプレイモード…

オーディオモード/ALBUM/
3桁の番号*

トラックプレイモード…

日付/オーディオモード/3桁
の番号*

*…日付が変わった場合、番号
を1から順に付与する。

MUSIC JUKEをお使いになる前に

データベース情報を表示する

ハードディスクに収録されているタイトルデータベースのバージョン情報を見ることができます。タイトルデータベース情報画面は表示例であり、タイトルデータベースの収録時期によって表示内容が異なります。

1 **INFO** を押します。

2 **次ページ** にタッチします。



3 **データ管理** にタッチします。



4 **バージョン情報** にタッチします。

● データベース情報を表示します。



データベースを更新する

本機のGracenote CDDDBデータベースは、提供されたデータによって更新することができます。なお、更新データの提供については、別途、弊社よりご連絡する予定です。

1 **INFO** を押します。

2 **次ページ** にタッチします。



3 **データ管理** にタッチします。



4 データベースの更新 にタッチします。

- データベースの更新が完了します。



ハードディスクの容量を確認する

ハードディスク内の録音トラック数や作成プレイリスト数を表示することができます。録音可能な曲数や、作成可能なプレイリスト数も確認することができます。

1 INFO を押します。

2 次ページ にタッチします。



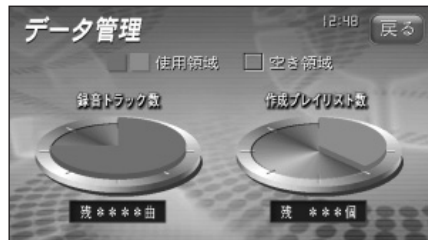
3 データ管理 にタッチします。



4 確認 にタッチします。



- ハードディスクの容量を表示します。

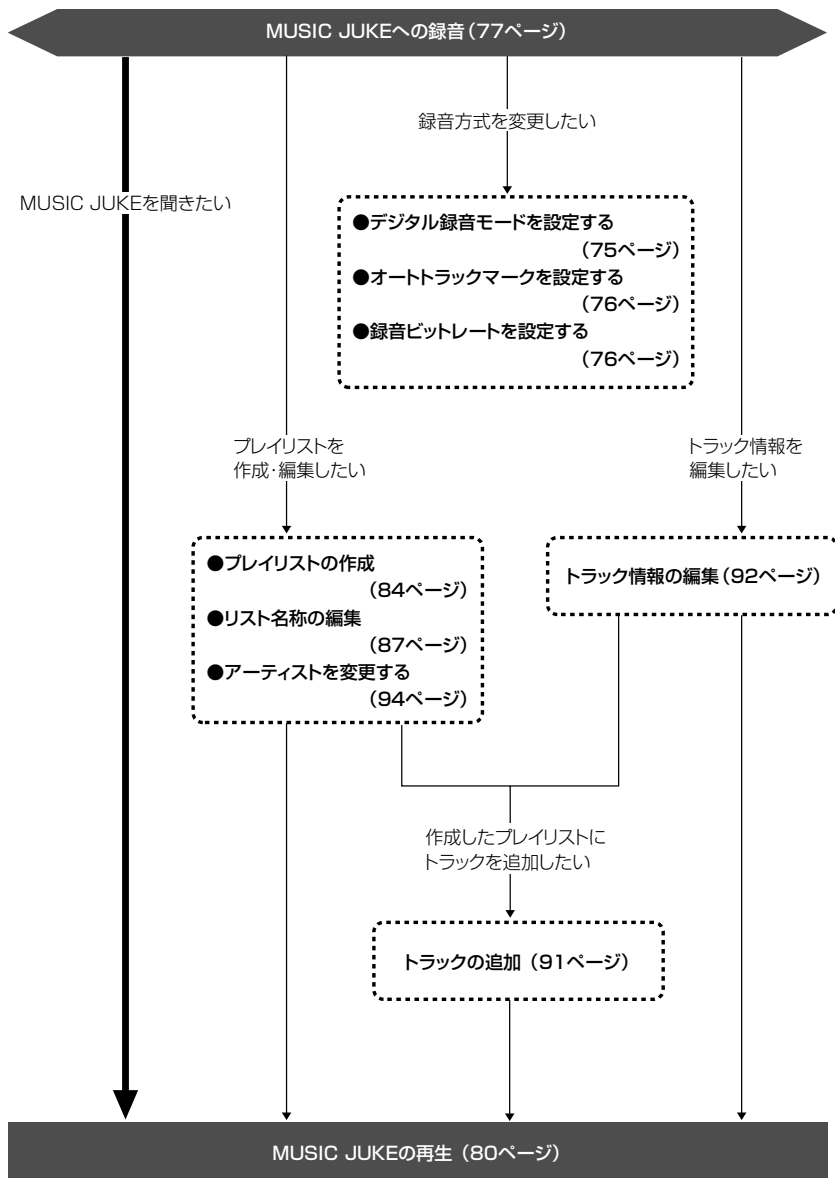


一度付与されたタイトル情報は、Gracenote CDDDBデータベースを更新しても変更されません。CDアルバムをデジタル録音した場合に、日付やオーディオモード、番号などが付いたタイトルは、データベース更新後に、データベースに該当するタイトル情報が保有されても、更新されません。

MUSIC JUKEをお使いになる前に

操作の流れについて

MUSIC JUKEへの録音や、プレイリスト、トラック情報の編集、MUSIC JUKEの聞き方などの操作を説明します。



MUSIC JUKEへの録音

MUSIC JUKEへの録音について

- 本機は、内蔵のCDプレーヤー、別売のCDチェンジャー・MDチェンジャーで再生している音楽や、ラジオ、TV（音声）、VTR（音声）で放送している・再生している音楽・音声をMUSIC JUKEに録音することができます。
- MP3ファイル、“メモリースティック”、DVDから録音することはできません。

録音できるオーディオモードと録音方式について

MUSIC JUKEは、録音できるオーディオモードにより、録音方式が異なります。

録音方式	録音可能なオーディオモード
デジタル録音	CDプレーヤー
アナログ録音	FM、AM、TV（音声）、VTR（音声）、CDチェンジャー、MDチェンジャー、CDプレーヤー（デジタル録音禁止されているCDの場合のみ）

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽・音声データについては保証できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽・音声データが正しく録音されていることを確認してください。
- ACC ONの状態で録音している時に、エンジンスタートすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップCD（曲と曲の間の無音部分が無いCD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがありますが、録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽や音声が停止します。
 - アナログ録音開始時および終了時は約2秒間音楽や音声が聞こえなくなります。
 - 音楽CDなどをデジタル録音中にラジオなどに切り替え、録音を終了すると、約2秒間ラジオの放送が聞こえなくなります。

MUSIC JUKEへの録音

デジタル録音について

- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、CDなどからデジタル録音したもの（CD-R、CD-RWなど）を、MUSIC JUKEにデジタル録音することはできません。また、録音が禁止されている音楽CDから録音することはできません。但し、**●REC**を押してMUSIC JUKEに録音することができます。この場合はアナログ録音方式になります。
- デジタル録音中にお車のエンジンをOFF(ACC OFF)にしたり、CDを取り出したりすると、録音途中のトラック（曲）は消去されますが、デジタル録音モードが“AUTO”の場合は、再度エンジンをON(ACC ON)にすると、録音途中のトラック（曲）を頭から録音し、CDを挿入すると、すでに録音されているトラック（曲）を再生している間は、録音は待機状態になり、録音途中だったトラック（曲）が再生されると同時に録音を開始します。
- 録音中、オーディオモードを切り替えても、録音は継続されます。また、オーディオをOFFにしても録音は継続されます。
- すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。
- 手動で録音を停止する場合は、次曲を3秒ほど再生してから**●REC**を押してください。音楽の終了と同時に**●REC**を押し、録音を終了すると正常に録音できていない場合があります。

アナログ録音について

- アナログ録音は、5時間以上連続で録音することはできません。続けて録音する場合は、再度**●REC**を押して録音してください。
- アナログ録音中にお車のエンジンをOFF（ACC OFF）にした場合、録音を中止します。また、録音中、オーディオモードを切り替えると録音は中止されます。

録音方式の設定

MUSIC JUKEの録音方式を切り替えることができます。

- 1 MUSIC JUKE操作画面で、**設定** にタッチします。



●MUSIC JUKE操作画面

- MUSIC JUKE設定画面が表示されます。
- MUSIC JUKE設定画面から下記の設定を切り替えることができます。



●MUSIC JUKE設定画面

項目	機能	ページ
デジタル録音モード	デジタル録音時のオート、マニュアルの設定	下記
オートトラックマーク	録音したトラック（曲）の区切り設定	次ページ
録音ビットレート	録音時の音質切り替え	次ページ
表示並び替え	プレイリスト・トラックの表示・再生順の並び替え	89

デジタル録音モードを設定する

デジタル録音する場合に、CD再生と同時に録音を開始する **AUTO**、またはパネルスイッチ（**●REC**）を押すと、再生している曲の頭に戻り録音を開始する **MANUAL** に切り替えることができます。

- 1 MUSIC JUKE操作画面で、**設定** にタッチします。

- 2 **AUTO**、または **MANUAL** にタッチします。

- **AUTO** ……CDを差し込むと、自動で再生と録音を開始、CD内全曲の再生終了と同時に録音を終了。
- **MANUAL** ……**●REC** を押すと録音を開始、再度 **●REC** を押すと録音を終了。



MUSIC JUKEへの録音

オートトラックマークを設定する

トラック（曲など）とトラックの間を設定します。

1 MUSIC JUKE操作画面で、**設定** にタッチします。

2 **ON**、または**OFF** にタッチします。

- **ON** …… CDなどは、曲と曲の間にある無音部分を検知して、トラックを設定する。
CD以外のオーディオモードを録音する場合は、録音を終了した時点でトラックを設定する。
- **OFF** …… 録音開始から録音終了までを1トラックとして設定する。



録音ビットレートを設定する

録音するときの音質を選ぶことができます。録音ビットレートの数字が大きくなるほど、音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。

1 MUSIC JUKE操作画面で、**設定** にタッチします。

2 **132k**、**105k**、または**66k** にタッチします。



MUSIC JUKEへの録音

本機は、CDプレーヤーからMUSIC JUKEへ録音するデジタル録音と、CDプレーヤー以外のオーディオモードからMUSIC JUKEへ録音するアナログ録音があります。

デジタル録音は、CDの再生と同時に自動で録音を開始するAUTO録音と●RECスイッチを押して録音を開始するマニュアル録音があります。

録音待機中は“REC”を表示し、録音中は“REC”が回転します。(以前、録音を途中で停止し、全ての曲が録音されていないCDアルバムを再生している場合は、CDアルバム内の全曲の録音が完了するまで、“REC”を表示します。)

録音中は下記のスイッチが使用できなくなります。

録音の種類	オーディオモード (音声モード)	タッチスイッチ	パネルスイッチ
デジタル録音	CD	▲ ▼ RPT RAND SCAN	▲長押しのみ ▼長押しのみ
	CD以外※	制約なし	制約なし
アナログ録音	AM、FM、CD、 CDチェンジャー、 MDチェンジャー、 TV、VTR	▲ ▼ RPT RAND SCAN DISC RPT DISC RAND DISC SCAN 各プリセットスイッチ エリア AUTO.P ▲ ▼ マルチ	▲ ▼

※ …デジタル録音しながら、オーディオモードをラジオやTV、“メモリースティック”、CDチェンジャー、MDチェンジャーに切り替えた場合。

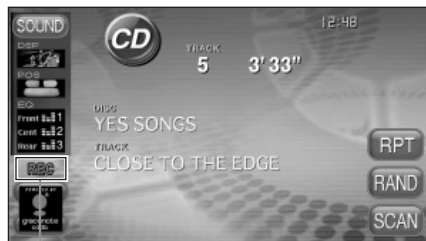
MUSIC JUKEへの録音

CDを再生しながら自動で録音する

CDを差し込み、再生と同時に、自動でMUSIC JUKEへの録音を開始します。

1 CDを差し込みます。

- 「CDを聞く」(51ページ)を参照してください。
- 自動でMUSIC JUKEへの録音を開始します。
- 録音を停止する場合は、次曲を3秒ほど再生してから **REC** を1秒以上押します。



RECマーク



ワンポイント

- コピー許されていないCD-R/RWや、CDプレーヤー以外のオーディオモードからMUSIC JUKEに録音する場合はアナログ録音となり、マニュアル操作でのみ録音することができます。
- すでにCDが差し込まれているときに、オーディオモードをCDに切り替えても自動で録音は開始されません。 **REC** を押して録音を始めてください。
- お好みの曲から録音を開始したい場合は、「デジタル録音モードを設定する」(75ページ参照)で録音モードを **MANUAL** に設定してください。

CDの中から好みのトラック（音楽）を録音する

CDを再生中、好みの曲から録音を開始します。

1 CDを再生します。

●「CDを聞く」（51ページ）を参照してください。

2 ●REC を1秒以上押します。

- 曲の初めに戻り、MUSIC JUKEへの録音を開始します。
- 録音を停止する場合は、●REC を1秒以上押します。



録音マーク

CDプレーヤー以外のオーディオモードから録音する

ラジオ、TV、VTR、CDチェンジャー、MDチェンジャーを再生中、好みのタイミングで録音を開始します。

1 録音するオーディオモードに切り替えます。

●「モードの切り替え方」（18ページ）を参照してください。

2 ●REC を1秒以上押します。

- MUSIC JUKEへの録音を開始します。
- 録音を停止する場合は、●REC を1秒以上押します。



録音マーク



CDを差し込み、再生と同時に録音を開始する場合は、「デジタル録音モードを設定する」（75ページ参照）で録音モードを**AUTO** に設定してください。

MUSIC JUKEの使い方



MUSIC JUKEを聞く

1 **SOURCE** を押します。

2 **MUSIC JUKE** にタッチします。

- 再生を始めます。
- 前回、MUSIC JUKEを再生していた場合は、最後に聞いていたトラック(曲)の最初から再生を始めます。

聞きたいトラック(曲)を選ぶ

MUSIC JUKEに保存されている複数のトラック(曲)をアルバム名やジャンルなどグループ別に選ぶことができます。タッチするプレイモードによって、表示するプレイリストは切り替わります。

プレイモード	プレイリスト
アルバム	録音した時に自動で作成したプレイリストを表示します。
マイセレクト	オリジナルで作成したプレイリストを表示します。
トラック	プレイリストはありません。録音したすべての音楽を表示します。
アーティスト	録音した時に自動で作成したアーティスト名のプレイリストを表示します。
ジャンル	録音した時に自動で作成したジャンル別のプレイリストを表示します。
録音日	録音した日付のプレイリストを表示します。



ワンポイント

MUSIC JUKEに記録されているプレイリスト名やトラック名などを表示することができます。表示文字数は、半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字まで表示できます。

選曲・頭出しスイッチから選ぶ

1 **PLAY MODE** にタッチしてプレイモードを選びます。

- プレイモードを切り替えると選んだプレイモードの一番目に収録されているプレイリストを再生します。
- PLAY MODE** にタッチするごとに、下図の順に切り替わります。

アルバム → マイセレクト → トラック
 ↑
 録音日 ← ジャンル ← アーティスト



2 **PLAY LIST▲**、または **PLAY LIST▼** にタッチしてプレイリストを選びます。

- プレイリストに収録されている先頭のトラック情報を表示します。

3 ▲、または ▼ を押してトラックを選びます。

- プレイリストに収録されているトラックが順に切り替わります。

プレイモード・プレイリスト切り替えスイッチから選ぶ

1 **PLAY LIST** にタッチします。

- プレイリスト画面が表示されます。



2 プレイモードにタッチします。

- プレイモードに収録されているプレイリストを表示します。
- トラック** にタッチすると、MUSIC JUKEに録音されている全てのトラックを一覧で表示します。



- プレイリスト画面



各プレイモードは、プレイリストが作成されていないと選べません。

MUSIC JUKEの使い方

3 プレイリストにタッチします。

4 **TRACK** にタッチします。

- 選んだプレイリストのトラックを一覧で表示します。
- **▶** にタッチすると、プレイリストに収録されている先頭の曲から再生を始めます。



5 トラック名 (曲名) にタッチします。

- 選んだトラックを再生します。



● トラック一覧画面

早送り・早戻しする

いま聞いているトラック (曲) を早送り・早戻しすることができます。

1 **▲**、**▼** を “ピツ” と音がするまで長く押しします。

- **▲** (上側) : トラック (曲) を進めるとき
 - **▼** (下側) : トラック (曲) を戻すとき
- “ピツ” と音がすると早送り (早戻し) モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り (早戻し) します。

聞きたいトラック (曲) を探す

プレイリストの中から聞きたい曲を探す

1 **SCAN** にタッチします。

- 再生中のプレイリスト内、全曲の最初の10秒間だけ順に再生します。もう一度 **SCAN** にタッチすると、その曲で再生を続けます。

プレイモードの中から聞きたいプレイリストを探す

1 **PLAYLIST SCAN** にタッチします。

- 再生中のプレイモード内、全プレイリストの1曲目に収録されているトラックを最初の10秒間だけ順に再生します。もう一度 **PLAYLIST SCAN** にタッチすると、そのプレイリストで再生を続けます。



ワンポイント

- 同じモード内にリストが4個以上ある場合は、**▲**・**▼** にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。
- 同じリスト内に4曲以上収録されている場合は、**▲**・**▼** にタッチすると、トラック名 (曲名) を切り替えて表示することができます。

聞きたいトラック (曲) を繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

1 **RPT** にタッチします。

- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

いま聞いているプレイリストを繰り返し再生する

1 **PLAYLIST RPT** にタッチします。

- 一度 **PLAYLIST RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **PLAYLIST RPT** にタッチすると解除されます。

トラック (曲) の順番をランダムに聞く

いま聞いているプレイリストの中からランダムに再生する

1 **RAND** にタッチします。

- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。

MUSIC JUKEに保存されている全曲の中からランダムに再生する

1 **ALL RAND** にタッチします。

- 一度 **ALL RAND** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **ALL RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

MUSIC JUKEを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度押すと再生が再開されます。

プレイリストの編集

本機は、MUSIC JUKEに録音すると、アルバム名やアーティスト名などのプレイリストを自動で作成し、グループ分けしますが、お好みのトラック（曲）を集めたオリジナルプレイリストを作成することができます。また、プレイリストの名称の編集やプレイリストの並び替えをすることができます。

プレイリストの作成

プレイモードのマイセレクトはお好みの曲だけを集めたプレイリストを作成することができます。プレイモードのアーティストに、新しくプレイリストを作成する場合は「**アーティストを変更する**」(94ページ)を参照してください。

- 1 MUSIC JUKE操作画面で、**編集** にタッチします。

- 編集メニュー画面が表示されます。



- 2 **プレイリスト新規作成** にタッチします。



- 編集メニュー画面

- 3 **プレイリスト名を入力する**

- 3 **タイトル** にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



- 4 タイトルを入力します。

- 名称の入力については、「**プレイリストの名称入力**」(86ページ)を参照してください。



5 「読み」にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



6 読みを入力します。

- 読みの入力については「カナ、英字、数・記号の入力」(次ページ)を参照してください。



7 タイトル、読みを確認し、「完了」にタッチします。



■作成したプレイリストにトラックを追加する

8 トラックを選びます。

- トラックの検索については、「トラックの検索」(92ページ)を参照してください。



9 「完了」にタッチします。



- 作成したプレイリストには、必ずトラックを追加してください。1曲もトラックが入っていないプレイリストは作成できません。
- 読みはカタカナ全角のみ入力することができます。
- 複数のトラックを同時に選ぶ場合は、選びたいトラック全てにタッチしてください。
- 一度に選ぶことができるトラック数は最大99です。

プレイリストの編集

プレイリストの名称入力

1 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）、**英字**、**数・記号**（数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。
- カナ入力、英字入力、数・記号入力については「カナ、英字、数・記号の入力」を参照してください。
- 間違えた（または入力されている）ときは**クリア**にタッチすると、1つずつ消去されます。



2 ひらがなのときは、**無変換**、漢字のときは、**変換**にタッチします。



3 **変換**にタッチしたときは、変換する熟語リストで、入力する熟語にタッチします。

- 変換する文字の範囲を変更するときは、**◀**・**▶**にタッチして、範囲を変更し、再度**変換**にタッチします。



4 **完了**にタッチします。

カナ、英字、数・記号の入力

1 **カナ**、**英字**、**数・記号**にタッチします。

2 **半角**（または**全角**）にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えます。

- **▲前 ▼次**が表示されているときは、タッチするとページを切り替えることができます。



- 入力することができる文字数は最大16文字（半角文字は32文字）までです。
- 同じ名称は重複して登録することができません。

3 文字を1文字ずつタッチして入力します。

●間違えた(または入力されている)ときは**クリア**にタッチすると、1つずつ消去されます。

4 **完了**にタッチします。



リスト名称の編集

プレイモードのアルバム、またはマイセレクトに登録されているプレイリストを編集することができます。

1 MUSIC JUKE操作画面で、**編集**にタッチします。

●編集メニュー画面が表示されます。



2 **名称編集**にタッチします。



3 **プレイリストの編集**にタッチします。



4 **アルバム**、または**マイセレクト**にタッチします。

5 編集したいプレイリストにタッチします。



プレイリストの編集

6 **タイトル** にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



7 タイトルを入力します。

- 名称の入力については、「プレイリストの名称入力」(86ページ)を参照してください。



8 **読み** にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



9 読みを入力します。

- 読みの入力については「カナ、英字、数・記号の入力」(86ページ)を参照してください。



10 タイトル、読みを確認し、**完了** にタッチします。



ワンポイント

読みはカタカナ全角のみ入力することができます。

プレイリスト・トラックの並び替え

プレイリストやトラックは、録音した順に表示され、再生されます。プレイリストやトラックの表示を並び替えることで、再生する順を任意に変更することができます。

- プレイリストは、MUSIC JUKE設定画面の「表示並び替え」がONに設定されていないと並び替えできません。「表示並び替え」をONに設定する場合は、「作成した順番に並び替える」(下記)の手順で「表示並び替え」の **ON** にタッチしてください。

お好みに合わせて並び替える

- 1 MUSIC JUKE操作画面で、**PLAY LIST** にタッチします。



- 2 選びたいプレイモードにタッチします。

- 3 選びたいプレイリストにタッチします。

- 4 ▶ にタッチします。

- 選んだプレイリスト内のトラックを再生し、プレイリストの表示も切り替わります。



作成した順番に並び替える

お好みに合わせて並び替えたプレイリストを作成(録音)した順番に戻すことができます。

- 1 MUSIC JUKE操作画面で、**設定** にタッチします。

- MUSIC JUKE設定画面が表示されます。



- 2 表示並び替えの **デフォルト** にタッチします。

- 作成(録音)した順番にプレイリストを並び替えます。



プレイリストの編集

プレイリストの消去

プレイモードのアルバムまたはマイセレクトに登録されているプレイリストを消去することができます。選択したプレイモードにより、消去されるデータが違います。

選択したプレイモード	消去されるデータ
アルバム	選択したプレイリストおよびトラック（曲データ）は消去されますので、他のプレイモードからも検索することができなくなります。
マイセレクト	選択したプレイリストは消去されますが、トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモードから検索することができます。

1 MUSIC JUKE操作画面で、**編集** にタッチします。

●編集メニュー画面が表示されます。



2 **削除** にタッチします。



3 **プレイリストの削除** にタッチします。



4 **アルバム**、または **マイセレクト** にタッチします。



5 プレイリストにタッチします。

●消去確認画面が表示されます。

6 **YES** にタッチします。



ワンポイント

アーティストおよびジャンル、録音日のプレイリストは、該当するトラック（曲データ）が全て消去されると、プレイリストも自動で削除されます。

トラックの編集

トラック情報の編集を行います。録音したトラックのアーティスト名やジャンルを設定すると、トラックを検索する時、アーティスト名やジャンルからも探し出すことができます。

トラックの追加

録音したトラックは、マイセレクト内のプレイリストに追加することができます。その他のプレイモードには追加できません。

1 MUSIC JUKE操作画面で、**編集** にタッチします。

●編集メニュー画面が表示されます。



2 **トラックの追加** にタッチします。



●トラックを追加したいプレイリストを選択する

3 プレイリストにタッチします。



■追加するトラックを選択する

4 トラックを選びます。

●トラックの検索については「**トラックの検索**」(次ページ)を参照してください。



5 **完了** にタッチします。

●トラックがプレイリストに追加されます。



●複数のトラックを同時に追加する場合は、追加するトラック全てにタッチしてください。

●一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。

●一度に選ぶことができるトラック数は最大99です。

トラックの編集

トラックの検索

複数あるトラックの中から、選択したいトラックを検索します。

編集メニュー画面からトラックを検索すると、下記の画面を表示します。

1 プレイモードにタッチします。

- **トラック** にタッチすると、トラック一覧画面が表示されます。



2 選びたいプレイリストにタッチします。

- トラック一覧画面が表示されます。

3 選びたいトラックにタッチします。



- トラック一覧画面

トラック情報の編集

アーティスト名やアルバム名、トラックのタイトル、ジャンルを変更することができます。

トラック編集画面の呼び出し

1 MUSIC JUKE操作画面で、**編集** にタッチします。

- 編集メニュー画面が表示されます。



2 **名称編集** にタッチします。



ワンポイント

同じプレイモード内にリストが4個以上ある場合は、**▲**・**▼**にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

3 **トラックの編集** にタッチします。



4 編集したいトラックを選びます。

- トラックの検索については、「**トラックの検索**」(前ページ)を参照してください。



トラックタイトルを変更する

1 トラック編集画面で、**タイトル** にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



- トラック編集画面

2 タイトルを入力します。

- 名称の入力については、「**プレイリストの名称入力**」(86ページ)を参照してください。



3 **読み** にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。

4 **読み**を入力します。

- 読みの入力については「**カナ、英字、数・記号の入力**」(86ページ)を参照してください。



読みはカタカナ全角のみ入力することができます。

トラックの編集

アーティストを変更する

1 **アーティスト** にタッチします。

- 登録アーティスト一覧画面が表示されます。



2 選びたいアーティスト名にタッチします。



- **新規** にタッチすると、新しくアーティストを登録することができます。アーティスト名の入力については、「**プレイリストの名称入力**」(86ページ)、アーティスト名の読み入力については、「**カナ、英字、数・記号の入力**」(86ページ)を参照してください。

ジャンルを変更する

1 **ジャンル** にタッチします。



2 ジャンルにタッチします。

- **設定なし** にタッチすると、ジャンルを設定せずに登録することができます。



3 **完了** にタッチします。



▲・▼にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

トラックの消去

録音したトラックを消去することができます。

選択したプレイモード（プレイリスト）やトラックにより、消去されるデータが違います。

選択したプレイモード	選択したトラック	消去されるデータ
マイセレクト内の プレイリスト	リスト内のトラック	選択したプレイリスト内の登録を消去しません。トラック（曲データ）は消去されませんが、他のプレイモード、プレイリストから検索することができます。
	リスト内の 残り1つのトラック	選択したプレイリストは消去されます。トラック（曲データ）は消去されませんが、他のプレイモード、プレイリストから検索することができます。
マイセレクト以外の プレイリスト	リスト内のトラック	選択したトラック（曲データ）を消去します。他のプレイモード、プレイリストからも検索することができません。
	リスト内の 残り1つのトラック	選択したプレイリストおよびトラック（曲データ）を消去します。他のプレイモード、プレイリストからも検索することができません。

1 編集 にタッチします。

●編集メニュー画面が表示されます。



2 削除 にタッチします。



3 トラックの削除 にタッチします。



トラックの編集

4 トラックにタッチします。

- トラックの検索については「**トラックの検索**」(92ページ)を参照してください。



5 **削除** にタッチします。

- 消去確認画面が表示されます。

6 **YES** にタッチします。



- 複数のトラックを同時に削除する場合は、削除するトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。

TVの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、サイドブレーキをかけた場合のみTVをご覧になることができます。(走行中にTVモードを選択した場合、音声のみになります。)



TVを見る

1 **SOURCE** を押します。

2 **TV** にタッチします。

- TV画面になります。
- CONT** を押す、または画面にタッチすると、TV操作画面になります。



ワンポイント

TV操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。**CONT** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。

TVの使い方

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

- 1 ▲、▼を押す、または▲、▼にタッチします。

- 押すごとに1ステップずつチャンネルがUP/DOWNします。

▲▲ (上側) :
チャンネルUP (大きくなる)

▼▼ (下側) :
チャンネルDOWN (小さくなる)

自動で選ぶ

- 1 ▲、▼を“ピッ”と音がするまで押す、または▲、▼に“ピッ”、“ピッ”と2度続けて音がするまでタッチします。

- 現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

プリセットスイッチから選ぶ

- 1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- チャンネルの記憶方法は「チャンネルを記憶する」右記を参照してください。

- 2 **決定** にタッチすると、放送局受信画面に切り替わります。

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル(手動)とAUTO.P(自動)の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル(手動)で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは**AUTO.P** または **エリア** (101ページ参照) にタッチすると、AUTO.PまたはAREA.Pからマニュアルに切り替わります。

- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。

AUTO.P(自動)で記憶する

- 1 **AUTO.P** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.Pが表示され自動的に選局を始めます。“ピーッ”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。
- もう一度**AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

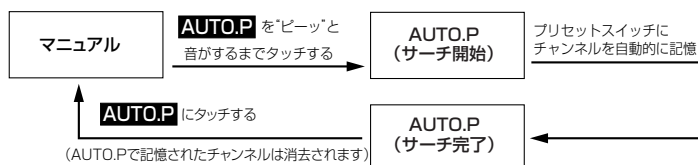
- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。

AUTO.P動作中、または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態にもどります。(このときAUTO.Pで記憶したチャンネルは消去されます。) AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- 受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

TVの使い方

マルチチャンネルビューを表示する

プリセットされている放送局を同時に最大8画面に分割して表示することができます。現在、放送されている複数の番組を確認しながら、お好みの番組を選ぶことができます。

- 1 **マルチ** にタッチします。



- プリセットしている番組を順に受信して、並べて（最大8画面）表示します。
- 戻る** にタッチすると1画面にもどります。
- 各表示画面は順次動画、静止画の順に切り替わります。
- （放送局）にタッチすると全画面になります。



ワンポイント

- マルチ** にタッチしてからプリセットしている番組をすべて表示するまで音声は聞こえません。すべて表示したあと動画の音声聞こえます。
- 受信できなかった放送局は画面に表示されません。
- TV設定画面でチャンネルをマニュアルで記憶すると、TV画面に切り替わりますので連続して記憶できません。

TV設定画面の切り替え

TVモードでは、TV設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- エリアプリセット
- 音声多重放送の切り替え
- 画面モード（ワイドモード）の切り替え
- DSP、EQ、POSなどの音質調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶

- 1 **設定** にタッチします。

- エリアプリセットや音声多重放送の切り替え操作などをおこなうことができます。
- 戻る** にタッチするとTV操作画面にもどります。



エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルの表示・選局ができます。

1 **エリア** にタッチします。

- “AREA.P” の表示とともにその地域で放送されている放送局名とチャンネルが表示されます。
- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチをタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの画面にもどります。



局名スイッチについて

TVを受信したとき、同じチャンネルの放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 **局名** にタッチします。

- 重複した放送局名が切り替わります。



音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

1 **主/副** をタッチするごとに、下図の順に切り替わります。

主音声 → 副音声 → 主・副音声
MAIN SUB MAIN・SUB




TVモードを終わる

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと電源を切る前の受信放送局（チャンネル）が受信（音声のみ）されます。



- 放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。
- 2ヶ国語放送を受信したときは、 が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

DVDビデオの特長

マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、再生中、TVの音声多重放送のように音声言語を切り替えることができます。



街の中心を流れるこの川は...



This river, which runs through the center of the town is...

マルチアングル機能について

DVDディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。



映像のアングルが切り替わります。



注意

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

字幕表示機能について



DVDディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。




ディスクについて

再生できるディスクの種類について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL, SECAM)用のディスクは再生することができません。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
	12cm／片面	1層 <MPEG 2方式> 133分
	12cm／両面	1層 242分 2層 266分 484分

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDディスクには （地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「このディスクは再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。



DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が動かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

DVDプレーヤーをお使いになる前に








再生できるサラウンドシステムについて

本機は、Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)、LPCM、SDDS、Dolby Pro Logicに対応していますので、映画館やコンサートホールのように臨場感あふれる音響空間を創り出すことができます。ディスクやパッケージに「Dolby Digital5.1ch」、「DTS5.1ch」と表示されているディスクも再生することができます。

DVDビデオを再生する場合の音質調整については、「サラウンドシステムの調整」(31ページ)を参照してください。

ディスクに表示されているマークについて

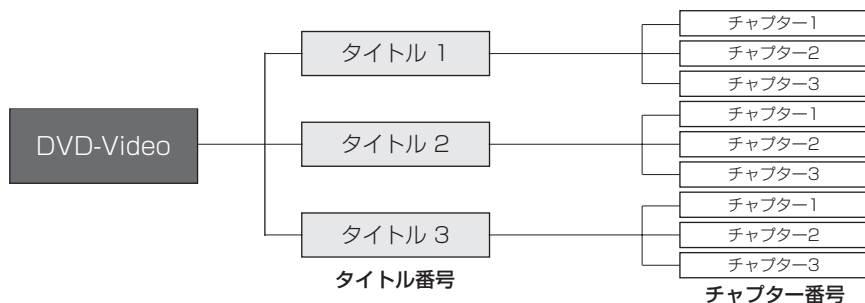
DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
 	選択可能な画像アスペクト比(テレビ画面の横と縦の比率)を表します。 ●「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面です。
 	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号(チャプター番号)が付けられています。



センタースピーカー、サブウーファを接続していなくても、「Dolby Digital5.1ch」、「DTS5.1ch」と表示されているDVDビデオを再生することができますが、5.1ch音声方式では再生できません。

操作の流れについて

映像の操作や検索、DVDプレーヤーの初期設定などの流れを説明します。

●タッチスイッチにタッチすると、下記の操作画面に切り替わります。

●DVD操作画面



サーチ



●タイトル画面



設定



初期設定

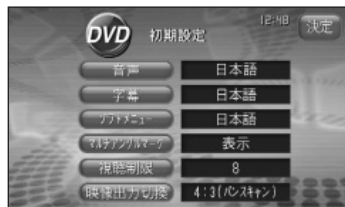


●メニュー操作画面

数字



●メニュー番号検索画面



●初期設定画面

DVDプレーヤーの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、サイドブレーキをかけた場合のみDVDをご覧になることができます。(走行中にDVDモードを選択した場合、音声のみになります。)



DVDを見る

DVD差し込み口にDVDを差し込むと、再生を始めます。

1 DVDが差し込まれているときに **SOURCE** を押します。

2 **DVD** にタッチします。

- 再生を始めます。
- 操作スイッチ(タッチスイッチ)を表示する場合は **CONT** を押す、または画面にタッチします。

映像を操作する

映像を再生する

1 ▶ にタッチします。



ワンポイント

- タッチスイッチなどの情報は約6秒間表示されます。**CONT** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
- ディスクによって、自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニュー項目を選択しないと、再生されないものがあります。「ディスクメニューを操作する」(108ページ)

早送り・早戻りする

再生している映像を早送り・早戻しすることができます。

パネルスイッチから早送り・早戻りする

1 ▲、または▼を“ピツ”と音がするまで押します。

- ▲（上側）：映像を進めるとき
▼（下側）：映像を戻すとき
- “ピツ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

タッチスイッチから早送り・早戻りする

1 ◀◀、または▶▶にタッチします。

- “ピツ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。



映像を一時止める

1 || にタッチします。

- 一時停止中（||）に▶▶を短くタッチするとスロー再生します。



映像を止める

1 ■ にタッチします。



DVDプレーヤーの使い方

ディスクメニューを操作する

ディスクに収録されているメニューを操作することができます。

1 **▶** にタッチします。

2 **メニュー**、または **トップメニュー** にタッチします。

3 **+** にタッチします。



4 **↓**、**↑**、**←**、**→** にタッチし、再生したい映像を選びます。

5 **決定** にタッチします。



DVDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開（音声のみ）されます。

見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号（内容ごとに区切られた番号）から探すことができます。

チャプターから探す

1 **▲**、または **▼** を押します。

- **▲**（上側）：次のチャプターを選ぶとき
- **▼**（下側）：前のチャプターを選ぶとき



ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

タイトル番号から探す

1 **サーチ** にタッチします。

- タイトル番号入力画面が表示されます。



2 **1**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、タイトル番号を入力します。

- **1**、または **+** にタッチすると、タイトル番号が1ずつ切り替わります。
- **-10**、または **+10** にタッチすると、タイトル番号が10ずつ切り替わります。

3 **決定** にタッチします。

メニュー番号から探す

1 **NEXT** にタッチします。

2 DVD操作画面で **数字** にタッチします。



3 **数字** にタッチします。

- メニュー番号入力画面が表示されます。



4 **1**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、メニュー番号を入力します。

- **1**、または **+** にタッチすると、メニュー番号が1ずつ切り替わります。
- **-10**、または **+10** にタッチすると、メニュー番号が10ずつ切り替わります。

5 **決定** にタッチします。

DVDプレーヤーの使い方

タッチスイッチの表示を切り替える

再生中、タッチスイッチの表示を切り替えたり、タッチスイッチの表示を消すことができます。

タッチスイッチを消す

1 **ボタン消** にタッチします。

- **CONT** を押す、または画面にタッチすると、再度、タッチスイッチを表示します。



タッチスイッチの表示場所を切り替える

1 **NEXT** にタッチします。

2 **十字** にタッチします。

3 **パネル** にタッチします。

- タッチするごとにタッチスイッチの表示場所が上下に切り替わります。



画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングルを切り替えることができます。

アングルの切り換え

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルを切り替えて表示することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 マルチアングルが表示されているときに **アングル** にタッチします。

●アングル番号が表示されます。

マルチアングルマーク



3 **アングル切換** にタッチします。

●アングル番号が替わり、映像のアングルが切り替わります。

アングル番号



アングル切換 にタッチするごとに、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。

DVDプレーヤーの使い方

字幕言語の切り替え

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **字幕** にタッチします。

●字幕番号および言語が表示されます。



3 **字幕切替** にタッチします。

●字幕番号が替わり、字幕の表示言語が切り替わります。

字幕番号および言語



音声言語の切り替え

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り替えて再生することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **音声** にタッチします。

●音声番号および言語が表示されます。



3 **音声切替** にタッチします。

●音声番号が替わり、音声の再生言語が切り替わります。

音声番号および言語



ワンポイント

- **字幕切替** にタッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語が順に切り替わります。
- **音声切替** にタッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語が順に切り替わります。

DVDプレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

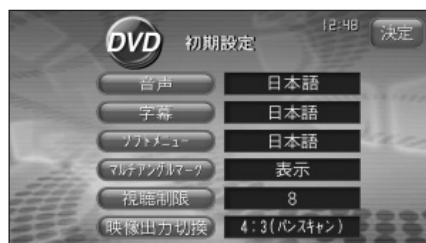


3 **初期設定** にタッチします。



●初期設定画面が表示されます。

4 各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。



タッチスイッチ	機能	ページ
音声	再生する映像の音声言語を設定します。	次ページ
字幕	再生する映像の字幕言語を設定します。	次ページ
ソフトメニュー	表示するメニューの言語を設定します。	115
マルチアングルマーク	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	115
視聴制限	再生できるDVDビデオを制限します。	116
映像出力切換	画面サイズを設定します。	117



初期設定画面で設定を変更した後、**決定** にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチ (**CONT**、**SOURCE**) を押すとDVDの再生は停止した状態になります。再度再生する場合は映像操作画面で **▶** にタッチします。(106ページ参照)

DVDプレーヤーの使い方

音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

1 初期設定画面で **音声** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては「言語コード一覧」(118ページ)を参照してください。



3 **決定** にタッチします。

字幕言語を設定する

再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

1 初期設定画面で **字幕** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。

● **字幕非表示** にタッチすると、画面に字幕を表示せずに再生することができます。



コードを入力する

1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては「言語コード一覧」(118ページ)を参照してください。



3 **決定** にタッチします。



選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。

メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

1 初期設定画面で**ソフトメニュー**にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 ソフトメニュー言語設定画面で**その他**にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては「**言語コード一覧**」(118ページ)を参照してください。



3 **決定** にタッチします。

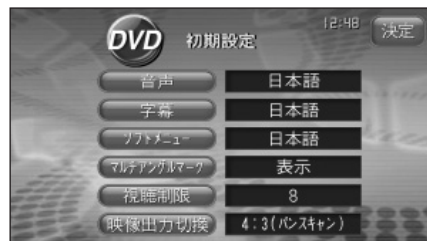


- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の右上にマルチアングルマークが表示されます。

マルチアングルマーク (アングル選択マーク) の表示を設定する
再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

1 初期設定画面で**マルチアングルマーク**にタッチします。

● タッチするごとに「表示」と「非表示」が切り替わります。



2 **決定** にタッチします。

DVDプレーヤーの使い方

視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

1 初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

2 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。



3 **決定** にタッチします。

4 お好みの視聴制限レベルにタッチします。



5 **決定** にタッチします。

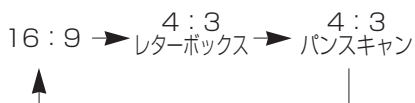


- 視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定できません。
- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「-----」で表示されます。
- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**クリア** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。
 - レベル1 ……子ども向けのDVDソフトのみを再生します。（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
 - レベル2～7…子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。（成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
 - レベル8 ……全てのDVDソフトを再生します。（初期設定）

映像出力を切り替える

1 初期設定画面で **映像出力切換** にタッチします。

- タッチするごとに下図の順に画面サイズが切り替わります。



2 **決定** にタッチします。

- **「16:9」**
通常のワイドサイズで表示されます。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、又は左右に伸びた表示になります。

- **「4:3 [レターボックス]」**
上下両端が黒く表示された映像になります。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。

- **「4:3 [パンスキャン]」**
左右両端がカットされた映像になります。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。



後席モニターなどの別のモニターを接続した場合、本機（フロント）で設定した映像出力切換のサイズにより、後席モニターで表示されるサイズは異なります。



お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

DVDプレーヤーの使い方

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

コード	言語名称
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アプバジャ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハーリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	ブータン語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガルシア語
0714	グアラニ語
0721	グジャラート語

コード	言語名称
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue
0911	イヌピアック語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤーラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オモロ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語

コード	言語名称
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディー語
1815	ローマ語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語
1911	スロバック語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	シヨナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スندا語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	チグリス語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2015	ニュージーランド語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベグ語
2209	ベトナム語
2215	ポラピュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーサ語
2515	ヨルバ語
2621	ズールー語

VTRの使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。(走行中にVTRモードを選択した場合、音声のみになります。)

パワースイッチ

CONT
スイッチ

SOURCE
スイッチ



VTRを見る

1 **SOURCE** を押します。

2 **VTR** にタッチします。

- VTR画面になります。
- **CONT** を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。

VTRモードを終わる

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開(音声のみ) されます。



ワンポイント

VTR操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
CONT を押すと再度、表示します。

マルチウィンドウ機能

マルチウィンドウについて

ナビゲーションの画面とオーディオ、TVの操作画面を左右に分割して同時に表示することができます。また、オーディオ機能以外の目的地情報や走行情報、時計を表示することができます。



●ナビゲーション画面＋走行情報画面

マルチメニュー画面

1 **マルチW** を押します。

●マルチメニュー画面が表示されます。

2 各項目にタッチすると次ページのマルチウィンドウ画面を表示します。



- マルチウィンドウ画面を表示中は、地図向きの切り替えや、地図の移動（ワンタッチスクロール）は操作できません。
- 通常のTVモード、またはDVDモードが選択されている場合、マルチメニュー画面で**オーディオ**にタッチしても、TV画面、またはDVD画面が表示されます。オーディオ画面を表示する場合は、オーディオモードを切り替えてから**マルチW**を押してください。

表示画面

機能

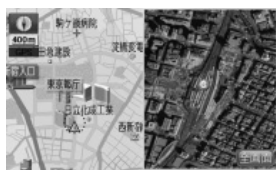
ページ



TV画面の表示

チャンネルの切り替えができます。

122



目的地情報画面の表示

目的地周辺の衛星画像を表示することができます。

123



オーディオ画面の表示

FM、AM、CD、“メモリースティック”、MDCH、CDCH、MP3、MUSIC JUKE、VTRの画面を表示することができます。

123



DVD画面の表示

CHAPTERの切り替えができます。

122



走行情報の表示

現在の速度、高度、速度履歴を表示します。

—



時計の表示

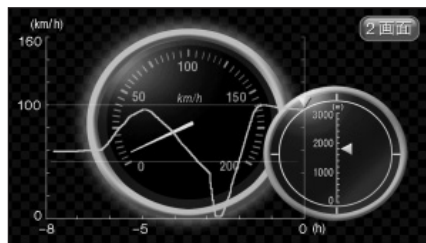
現在の時刻を表示します。

—

マルチウィンドウ機能

マルチウィンドウ画面の操作

- **全画面** にタッチすると、全画面に切り替わります。
- **2画面** が表示されているとき、**2画面** にタッチすると、マルチウィンドウ画面に戻ります。



● 走行情報を選択した場合

TV・DVD画面の操作

TVではチャンネルを、DVDではチャプターを切り替えることができます。TV操作の詳細については「**TVの操作**」(97ページ)を、DVD操作の詳細については「**DVD/VTRの操作**」(106ページ)を参照してください。



1 ▲、▼ にタッチします。

- TV画面では、プリセットスイッチに記憶されている放送局を順に切り替えます。
- DVD画面では、ディスクに記録されているチャプターを順に切り替えます。

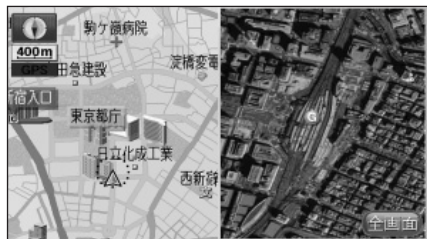


TV・DVD画面は、**全画面** にタッチすると通常のTVモード、DVDモードに切り替わります。再度マルチウィンドウ画面を表示するときは **CONT** を押してください。

目的地情報画面の操作

目的地が設定されていて、目的地周辺の衛星画像が収録されている地域では、上空からの衛星画像を表示することができます。

- 衛星画像が収録されている地域などについては「取扱説明書ナビゲーション編」-「衛星画像（IKONOS）の表示」を参照してください。



- 1 **詳細** または **広域** にタッチすると、衛星画像画面の縮尺を切り替えることができます。



オーディオ画面の操作

AM、FMモードでは放送局の切り替え、CD、“メモリースティック”、MUSIC JUKE、MP3、CDC、MDCモードでは曲やリストを切り替えることができます。各オーディオ操作やVTR操作の詳細については、各操作ページを参照してください。

- オーディオモードを切り替えるときは、**SOURCE** を押して、各モードにタッチしてください。モードが切り替わりマルチウィンドウ画面に戻ります。



- 地図向きを切り替えることができません。
- マルチウィンドウ機能を解除するときは**NAVI** を押してください。
- オーディオ画面は、**全画面** にタッチすると通常のオーディオモードに切り替わります。再度マルチウィンドウ画面を表示するときは**CONT** を押してください。

知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	原因	処置
CD検索中です	CDチェンジャーにマガジンをセットしたとき、CDチェンジャーがディスクの有無を検索しているため。	検索が終わるまで、そのまま、しばらくお待ちください。
CDのふたが開いています	CDチェンジャーの扉が開いているため。	CDチェンジャーの扉を閉めてください。
CDをお確かめください	CDが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しの場合は正しく入れてください。
CDが入っていません	CDプレーヤーまたはCDチェンジャーにディスクが入っていないため。	音楽ディスクを入れてください。
MP3が入っていません	CDプレーヤーにMP3ディスクが入っていないため。	MP3ディスクを入れてください。
異常検知でCD停止中です※1	なんらかの原因でCDプレーヤーまたはCDチェンジャーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
高温検知でCD停止中です※2	CDプレーヤーまたはCDチェンジャーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
CDマガジンが入っていません	CDチェンジャーにマガジンが入っていないため。	マガジンを入れてください。
走行中は音声をお楽しみください	走行中にTVまたはDVDを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させてサイドブレーキをかけてからお楽しみください。
このMEMORY STICKには対応していません	対応していないMEMORY STICKを挿入したため。	本機で利用できるMEMORY STICKを確認してください。(16ページ参照)
MEMORY STICKが入っていません	MG MEMORY STICKが入っていないため。	MG MEMORY STICKを入れてください。
再生可能なファイルがありません	MG MEMORY STICK内に、再生可能な音楽データが記録されていないため。	再生可能な音楽データが記録されているMG MEMORY STICKを入れてください。
MEMORY STICK認証中	MEMORY STICKの認証を処理しているため。	MEMORY STICKの認証にしばらく時間がかかります。しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
MEMORY STICKをお確かめ下さい	静電気により、MEMORY STICKが再生できなくなったため。	しばらくしてから再度、挿入し、再生してください。

※1 イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

※2 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
このMEMORY STICKからHDDへ保存できません	対応していないMEMORY STICKからHDDへデータを保存しようとしたため。	本機で使用できるMEMORY STICKを確認してください。(16ページ参照)
再生可能なファイルがありません	再生可能な音楽データが入っていないMEMORY STICKを挿入したため。	MEMORY STICKに録音されている音楽データを確認してください。
録音中はMEMORY STICKモードへ移行できません	録音中にMEMORY STICKモードに切り替えようとしたため。	録音を中止してからMEMORY STICKモードに切り替えてください。(78、79ページ参照)
期間・回数に制限があるため、再生できません	再生制限付きのデータを制限を越えて再生しようとしたため。	再度、データを入手してから再生してください。
音楽データがありません	MUSIC JUKEに何も録音されていないときに、MUSIC JUKEモードに切り替えようとしたため。	MUSIC JUKEに録音してからMUSIC JUKEモードに切り替えてください。(77ページ参照)
HDDの容量が一杯になったので、録音を停止します	録音中にHDDの容量が一杯になったため。	HDD内の音楽データを削除してから、再度録音してください。(90、95ページ参照)
このCDは録音済みなので、録音をキャンセルします	すでに録音されている音楽CDアルバムを再度録音しようとしたため。	すでに録音されている音楽CDは録音することができません。録音する場合は、録音されているデータを削除してから、再度録音してください。(90、95ページ参照)
タイムオーバーなので、録音を中止します	アナログ録音時、連続録音時間が300分に達したため。	再度、 ●REC を押して録音を続けてください。
録音禁止されているため、録音をキャンセルします	デジタル録音が禁止されているCDを録音しようとしたため。	●REC を押して録音してください。アナログ録音方式で録音します。
プレイリストが一杯なので、プレイリストを削除してから録音開始して下さい	MUSIC JUKE内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、自動でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、録音を開始してください。(90ページ参照)
トラックが一杯なので、トラックを削除してから録音開始して下さい	MUSIC JUKE内のトラック数が一杯になり、これ以上、音楽を録音できないため。	トラックを削除してから、録音を開始してください。(95ページ参照)
プレイリストが一杯です	MUSIC JUKE内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、新規でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、新規でプレイリストを作成してください。(84、90ページ参照)
トラックが一杯です	プレイリスト内のトラック数が一杯になり、これ以上、トラックを追加できないため。	トラックを削除してから、トラックを追加してください。(95ページ参照)
録音中は、編集モードへ移行できません	録音中に、編集作業を行おうとしたため。	録音を中止してから編集作業を行ってください。(78、79ページ参照)

知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
異常検知でMusic Juke停止中です	何かしらの原因で異常を検知したため。	エンジンをOFF (ACCをOFF) にしてください。
異常発生により、録音を停止します	何かしらの原因で異常を検知したため。	オーディオをOFFにしてください。
Music Juke準備中 【注】準備中は電源を落とさないで下さい。	Music Jukeモードに切り替えたとき、初期化を行っているため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
録音準備中 【注】準備中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	録音中、車のエンジンをOFF (ACC OFF) にし、再度車のエンジンをON (ACC ON) にしたため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
高温のため、録音を停止します※2	HDD内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
低温のため、録音を停止します※2	HDD内の温度が異常に低いため。	温度が上がるまで、しばらくそのままお待ちください。
データ更新中 【注】更新中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ更新中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
データ保存中 【注】保存中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ保存中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
データ消去中 【注】消去中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ消去中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
画像編集のため、オーディオOFFします	MEMORY STICKモード、またはMUSIC JUKEモードのときに、HDDに画像データを保存しようとしたため。	オーディオモードを切り替える、またはオーディオをOFFにしてから画像データを保存してください。
画像データが読めません ディスクが正しいかご確認ください	壁紙の記録されていないディスクが入っている、または何かしらの原因でディスクが読めないため。	画像データを確認してください。(39ページ参照)
画像を表示できません 容量がオーバーしています	画像の容量が大きすぎるため。	1.5MB以下の画像ファイルとしてください。(39ページ参照)
画像を表示できません 画像サイズがオーバーしています	画像サイズが大きすぎるため。	横800×縦480dot以下の画像ファイルとしてください。(39ページ参照)
画像を表示できません データをご確認下さい	壁紙の画像データのファイル形式が違っているため。	画像データを確認してください。(39ページ参照)

メッセージ	原因	処置
カスタム画像がありません カスタムの変更から画像の登録ができます	カスタム画像とする画像データが登録されていないため。	カスタムに画像を登録してください。(38ページ参照)
画像ファイルの保存に失敗しました	何かしらの原因で、HDDに画像データが保存できなかったため。	画像データを確認してからHDDへ保存してください。(39ページ参照)
すでにデータベースが更新されているため、更新することができません	すでにバージョンアップが完了しているデータベースをもう一度バージョンアップしようとしたため。	すでにバージョンアップされているデータベースは、同じバージョンのデータでは更新できません。
データ更新失敗しました	何かしらの原因でデータベースの更新に失敗したため。	再度更新してください。更新できない場合は、販売店に相談してください。
高温のためHDD停止中です ※2	HDD内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
低温のためHDD停止中です ※2	HDD内の温度が異常に低いため。	温度が上がるまで、しばらくそのままお待ちください。
ディスクをお確かめ下さい	DVDが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。 裏返しのときは、正しくいれてください。
ディスクが入っていません	DVDディスクが入っていないため。	DVDディスクを入れてください。
異常検知でDVD停止中です ※1	何らかの原因でDVDプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
温度異常のためDVD停止中です ※2	DVDプレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
このDVDは演奏できません	対応していないDVDを入れているため。	対応しているDVDを入れてください。(13、103ページ参照)
受け付けないコードです	DVDに対応していない言語コードを入力したため。	DVDに対応している言語コードを確認してください。
コード番号が正しくありません	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。
視聴制限がかかっており再生できません	視聴制限がかかっているため。	視聴制限の設定を変更して再生してください。

※1 イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

※2 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

症 状	考えられること	処置
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくそのままお待ちください。
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくすると安定します。
音が出ない	音量の調整不良。	音量スイッチを押して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードがはずれている。	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量の調整不良。	左右音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない。	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・DVDが入らない	電源が入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている。	すでに入っているCD・DVDをイジェクトしてから、お好みのCD・DVDを入れてください。
CD・DVDの再生ができない	結露している。	しばらく放置してから使用してください。（13ページ参照）
	CD・DVDに大きなキズやソリがある。	他のCD・DVDを入れてください。
	CD・DVDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。（14ページ参照）
	CD・DVDが裏返しになっている。	CD・DVDを正しい向きで挿入してください。
	対応していないCD・DVDが挿入されている。	対応しているCD・DVDを挿入してください。（13ページ参照）
自動再生されないDVDディスクが挿入されている。	DVDディスクに収録されているメニューを操作してください。（108ページ参照）	
MEMORY STICKの再生ができない	対応していないMEMORY STICKが挿入されている。	対応しているMEMORY STICKを挿入してください。（16ページ参照）
画面に CD CHANGER 1 、 CD CHANGER 2 が表示されない	CDチェンジャーの接続が不完全。	CDチェンジャーとの接続を確認してください。

症 状	考えられること	処置
MD CHANGER にタッチしても、MDチェンジャーにならない	MDチェンジャーの接続が不完全。	MDチェンジャーとの接続を確認してください。
CDを再生しても、自動で録音されない	デジタル録音モードが“MANUAL”に設定されている。	デジタル録音モードを“AUTO”に設定してください。(75ページ参照)
	MP3を再生している。	MP3は録音できません。
音声は出るが、映像が出ない	画面消しボタンで画面を消したとき。	CONT 、または SOURCE を押してください。(44ページ参照)
音声は出るが、TV映像が出ない(停車中)	サイドブレーキを引いていない。	サイドブレーキを引いてください。
映像も音も出ない	車の電源スイッチが入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードの接続が不完全。	各接続コードの接続を確認してください。
ディスプレイに光る点がある	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
壁紙が表示されない	取り込み画像サイズおよびファイル形式は適切ですか。	取り込み画像サイズを確認してください。(39ページ参照)
DVD再生中センタースピーカーから音が出ない	センタースピーカーのセッティングが“NONE”になっていませんか。	スピーカーサイズ切替で“LARGE”もしくは“SMALL”にしてください。(34ページ参照)
DVD再生中リアスピーカーから音が出ない(5.1chで鳴らない)	DVDの音声ドルビーサラウンドまたは(ステレオ)になっていませんか。	音声切替を行ってください。音声属性はパッケージでご確認ください。(113ページ参照)

- MP3** MP3はMPEG Audio LayerⅢの略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聴きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1/10のサイズにすることができます。
- ID3タグ** MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。ID3タグに対応したプレイヤーでID3タグ情報の表示・編集が可能です。
- エンコーダ** WAVEファイルからMP3ファイルへ変換（圧縮）するためのソフトウェアのことです。
- ATRAC3
(アトラックスリー)** 「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質、高圧縮を両立させた圧縮技術です。元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができるので、1枚のCDに複数の音楽を録音することができます。
- “メモリースティック”** 小型、軽量のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1枚の“メモリースティック”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。
- “MG メモリースティック
(マジックゲートメモリースティック)”** 著作権保護技術 “Magic Gate (マジックゲート)” を搭載した “メモリースティック” の名称で、音楽など、著作権保護技術が必要なデータの記録・再生を行うためのIC記録メディアです。対応機器とメディアの間で、お互いが、著作権保護に対応しているかどうかの判断を行い、対応していると認証された機器のみで再生することができます。

SCMS
(シリアルコピー
マネジメントシステム)

デジタル録音は、音質の劣化がとてもしないという特徴があり、著作権保護の観点から、デジタル信号でコピーした音源をさらにデジタル信号で録音（コピー）することはデジタル録音機器によって規制されています。これがSCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）です。

Dolby Digital (5.1ch)

フロントL/R、センター、リヤサラウンドL/Rの、サブウーファ6つのスピーカーを使用する5.1chの標準的なフォーマット [Dolby Digital] に対応しています。6chそれぞれを完全に独立（ディスクリート方式）させたデジタル圧縮信号をデコーダで伸長。自然で立体的な音場と明瞭な移動感、定位感で、ビデオソフトを十分に楽しむことができます。

DTS (5.1ch)

デジタルシアターシステム社が開発した最新の劇場用サラウンド方式 [DTS] にも対応しています。ドルビーデジタル5.1chと同様、6chそれぞれに別々の音声収録されていますが、圧縮率がドルビーデジタルの約1/10に比べ約1/4と低いため、さらにダイナミックレンジの広い緻密なサウンドを得ることが可能です。

**コピーコントロールCD
レーベルゲートCD**

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

用語説明

- Dolby Pro Logic** | ステレオ2chの中にセンター、リヤサラウンド（モノラル）の信号を合成して記録したもので、従来からビデオソフトなどに採用されている一般的なサラウンド方式です。再生時にデコーディングを行い、これらの信号を抽出。2chで録音されている名画旧作品や音楽CDも豊かな臨場感で楽しむことができます。
- LPCM（リニアPCM）** | 音楽CDに使用されている信号記録方式で、Linear Pulse Code Modulationの略です。音楽CDでは、44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは、48kHz/16bit～96kHz/24bitで記録されているため、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。
- MPEG** | Moving Picture Experts Groupの略で、「エムペグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。
- SDDS** | ソニーとソニー・ピクチャーズ・エンタテインメントが開発した音響システムのことで、最大、レフト(Lx2)+センター(Cx2)+ライト(Rx2)+サラウンドのレフト(L)+ライト(R)の合計8チャンネルで再生可能になっておりデジタル方式でMDと同じ圧縮方法で記録されています。
- gracenote CDDB** | CDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteロゴ及びロゴタイプ、Gracenote CDDBロゴ及びロゴタイプ、ならびに"Powered by Gracenote CDDB"ロゴは、Gracenoteの商標です。音楽認識サービスとMRSはGracenoteのサービスマークです。
音楽認識技術及び関連データは、Gracenote及びthe Gracenote CDDB Music Serviceにより提供されています。Gracenoteは音楽認識技術及び関連コンテンツ配信分野での業界標準です。
- より詳しい情報は、www.gracenote.comをご覧ください。

gracenote Cddbのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、バークレー市のGracenote ("Gracenote") からの技術とデータが含まれています。この製品はGracenoteの技術 ("Gracenote Embedded Software") により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報 ("Gracenote Data") を得ることも可能です。この技術はGracenote Database ("Gracenote Database") に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Dataにアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded SoftwareまたはGracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されたこと以外でのGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseの全ての使用をやめることに同意すること。
- GracenoteはGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenoteはこの同意のもとで、Gracenoteの名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの各項目はあなたに現状のまままで使用許可を与えます。Gracenoteは、すべてのGracenote Dataの正確さに関する、明示或いは黙示、真実の表明或いは保証は、一切致しません。GracenoteはGracenoteが明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。

Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。

Gracenoteは新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来Gracenoteが提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenoteは、Gracenote ComponentまたはいかなるGracenote Serverの利用により生じた結果について保証しません。

Gracenoteはいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

目的別索引

画面・音の調整について

<画面の調整に関して>

- オーディオ操作画面や、TV・DVDの画面を見やすくしたい
「画面の調整・設定」……………P43
- 操作画面、または設定画面の表示を、自動で切り替えたい
「優先画面の設定」……………P46
- 画面を消したい
「画面を消すときは」……………P44
- 操作画面などのタッチスイッチを消したい
「スイッチの表示切り替え」……………P46
- 壁紙を切り替えたい
「壁紙を切り替える」……………P37
- パソコンで取り込んだ画像やデジタルカメラで撮った画像を壁紙にしたい
「画像データを書き換える」……………P38
- パソコンで取り込んだ画像やデジタルカメラで撮った画像をHDDに保存したい
「画像データを保存する」……………P40
- HDDから画像データを削除したい
「画像データを消去する」……………P42
- 画面をワイドモードにしたい
「画面モード切り替え」……………P47

<音の調整に関して>

- 音量をかえたい
「主音量の調整」……………P20
- スイッチを操作したときの操作音を消したい（鳴らしたい）
「操作音の設定」……………P20
- 音質をかえたい
 - 演奏会場を擬似的に創り出したい
「DSP（音場）の設定」……………P24
 - イコライザを調整したい
「EQ（イコライザ）の調整」……………P25
 - 音量バランスを調整したい
「音量バランスの調整」……………P28
 - 小・高音量時にメリハリのある音にしたい
「オートLOUDの設定」……………P29

- MP3の音質を調整したい
「MP3音質補正の設定（MP3ハーモナイザー）」……………P29
- サブウーファの設定を変更したい
「サブウーファの設定」……………P30
- DVDビデオをもっと迫力のあるサウンドで聞きたい
「サラウンドシステムの調整」……………P31
- 音の到達時間差やスピーカーの出力レベルを調整したい
「スピーカーの調整」……………P34

オーディオ関係

ラジオの使い方について

■ラジオを聞きたい

「ラジオを聞く」……………P48

■放送局を探したい

「聞きたい放送局を選ぶ」……………P48

■放送局を記憶させたい

「放送局を記憶する」……………P49

■今、いるエリアの放送局が知りたい

「エリアスイッチについて」……………P50

CD・CDチェンジャーの使い方について

■CDを聞きたい

「CDを聞く」……………P51

■聞きたい曲やCDを選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」……………P52

「聞きたいCDを選ぶ」……………P62

■聞きたい曲が何番目、またはどのCDに入っているかわからない

「聞きたい曲を探す」……………P52

「チェンジャー内の全CDから聞きたい曲やCDを探す」……………P63

■いま聞いている曲やCDを繰り返し再生したい

「同じ曲を繰り返し聞いて聞く」……………P52

「聞きたい曲や同じCDを繰り返し聞く」……………P63

「曲の順番をランダムに聞く」……………P52,63

目的別索引

MP3プレーヤーの使い方について

■MP3を聞きたい

「MP3を聞く」P53

■聞きたいフォルダや音楽ファイルを選びたい

「聞きたいフォルダを選ぶ」P54

「聞きたい音楽ファイルを選ぶ」P54

■階層を戻りたい

「1つ上の階層を表示する」P54

■今の階層がわからない

「現在の階層を表示する」P55

■聞きたい音楽ファイルを探したい

「聞きたい音楽ファイルを探す」P55

■同じ音楽ファイルを繰り返し再生したい

「同じ音楽ファイルを繰り返して聞く」P55

■普段と違う順番で聞きたい

「順番をランダムに聞く」P55

■ディスクに記録した情報を表示したい

「音楽ファイル情報などを表示する」P55

■MP3について知りたい

「MP3について」P56

■MP3ファイルの作り方を知りたい

「MP3ファイルの作り方、楽しみ方」P59

“メモリースティック” プレーヤーの使い方について

■ “メモリースティック” を聞きたい

「メモリースティック」を聞くP60

■ 聞きたい曲を選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」P60

■ 聞きたい曲を探したい

「聞きたい曲を探す」P61

■ いま聞いている曲を繰り返し再生したい

「同じ曲を繰り返し聴く」P61

■ いつもと違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聞く」P61

MDチェンジャーの使い方について

■ MDを聞きたい

「MDを聞く」P64

■ 聞きたい曲やMDを選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」P64

「聞きたいMDを選ぶ」P64

■ 聞きたい曲が何番目、またはどのMDに入っているかわからない

「聞きたい曲を探す」P65

「聞きたいMDを探す」P65

■ いま聞いている曲やMDを繰り返し再生したい

「いま聞いている曲を繰り返し再生する」P65

「いま聞いているMDを繰り返し再生する」P65

■ いつもと違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聞く」P65

■ MDに記録した情報を表示したい

「MDのタイトルや曲名などを表示する」P65

目的別索引

MUSIC JUKEについて

MUSIC JUKEの使い方について

■MUSIC JUKEを聞きたい

「MUSIC JUKEを聞く」……………P80

■MUSIC JUKEについて知りたい

「MUSIC JUKEの概要」……………P66

「MUSIC JUKEの構成について」……………P66

■録音について知りたい

「MUSIC JUKEへの録音について」……………P73

「録音についての注意」……………P73

●録音できるオーディオモードについて知りたい

「録音できるオーディオモードと録音方式について」……………P73

●録音の設定を切り替えたい

「録音方式の設定」……………P75

■データベースについて知りたい

「データベースについて」……………P68

■プレイリスト自動作成機能について知りたい

「オートタイトリング機能について」……………P69

■タイトルデータベースを更新したい

「データベースを更新する」……………P70

■MUSIC JUKEに録音したい

●CDアルバムを自動で録音したい

「CDを再生しながら自動で録音する」……………P78

●CDを再生しながら好きなときに録音したい

「CDの中からお好みのトラック（音楽）を録音する」……………P79

●他のオーディオモードから録音する

「CDプレーヤー以外のオーディオモードから録音する」……………P79

■プレイリストを編集したい

- 新しいプレイリストを作成したい
「プレイリストの作成」……………P84
- 新しくアーティストをリストに追加したい
「アーティストを変更する」……………P94
- 作成したプレイリストを編集したい
「リスト名称の編集」……………P87
- プレイリストを削除したい
「プレイリストの消去」……………P90
- プレイリスト・トラックを並び替えたい
「プレイリスト・トラックの並び替え」……………P89

■トラック（曲）を編集したい

- 作成したプレイリストにトラック（曲）を追加したい
「トラックの追加」……………P91
- 録音したトラック（曲）を編集したい
「トラック情報の編集」……………P92
- トラック（曲）を削除したい
「トラックの消去」……………P95

■聞きたいトラック（曲）を選びたい

- 「選曲・頭出しスイッチから選ぶ」……………P81
- 「プレイモード・プレイリスト切り替えスイッチから選ぶ」……………P81

■聞きたいトラック（曲）を探したい

- 「プレイリストの中から聞きたい曲を探す」……………P82
- 「プレイモードの中から聞きたいプレイリストを探す」……………P82

■いま聞いているプレイリストやトラック（曲）を繰り返し再生したい

- 「いま聞いている曲を繰り返し再生する」……………P83
- 「いま聞いているプレイリストを繰り返し再生する」……………P83

■いつもと違う順番で聞きたい

- 「いま聞いているプレイリストの中からランダムに再生する」……………P83
- 「MUSIC JUKEに保存されている全曲の中からランダムに再生する」……………P83

目的別索引

TVについて

TVの使い方について

■TVを見たい

「TVを見る」……………P97

■放送局を探したい

「見たいチャンネルを選ぶ」……………P98

■放送局を記憶させたい

「チャンネルを記憶する」……………P98

■TVの設定画面に表示を切り替えたい

「TV設定画面の切り替え」……………P100

■今、いるエリアの放送局が知りたい

「エリアスイッチについて」……………P101

■今、聞いている音声を切り替えたい

「音声多重放送を切り替える」……………P101

■同時に複数の番組を表示したい

「マルチチャンネルビューを表示する」……………P100

DVDビデオ/VTRについて

DVDプレーヤーの使い方について

■DVDビデオを見たい

「DVDを見る」……………P106

■ディスクについて知りたい

- ディスクやパッケージに表示されているマークの意味が知りたい
「ディスクに表示されているマークについて」……………P104
- 再生できるディスクを知りたい
「再生できるディスクの種類について」……………P103
- 再生できるサラウンドシステムを知りたい
「再生できるサラウンドシステムについて」……………P104
- ディスクの構成を知りたい
「ディスクの構成について」……………P104

■ディスクに記録されているメニューを操作したい

「ディスクメニューを操作する」 P108

■再生している映像を操作したい

「映像を操作する」 P106

■映像を選びたい・探したい

「チャプターから探す」 P108

「タイトル番号から探す」 P109

「メニュー番号から探す」 P109

■タッチスイッチの表示を切り替えたい

「タッチスイッチの表示場所を切り替える」 P110

■字幕や音声、映像のアングルを切り替えたい

「アングルの切り替え」 P111

「字幕言語の切り替え」 P112

「音声言語の切り替え」 P112

■プレーヤーの設定について知りたい

「音声言語を設定する」 P114

「字幕言語を設定する」 P114

「メニュー言語を設定する」 P115

「マルチアングルマーク（アングル選択マーク）の表示を設定する」 P115

「視聴制限を設定する」 P116

「映像出力を切り替える」 P117

■VTRを使いたい

「VTRの使い方」 P119

その他

便利な機能

■ナビゲーション画面とオーディオ画面を同時に表示したい

「マルチウインドウについて」 P120

わからなくてお困りのとき

「こんなメッセージが表示されたときは」 P124

「故障とお考えになる前に」 P128

索引

五十音順

ア

エリアスイッチ	50,101
オートLOUDの設定	29
オートタイトリング機能	69
音質の調整	21
音声多重放送	101

カ

画質調整	43
画像データを書き換える	38
画像データを保存する	40
画面の調整	43
画面モード切り替え	47

サ

サブウーファの設定	30
主音量の調整	20
スピーカーの調整	34
操作音の設定	20

タ

データベースについて	68
トラックの編集	91

ハ

背景画（壁紙）	37
昼画表示	44
プレイモード	66
プレイリストの編集	84

マ

マルチアングルマーク	115
マルチウィンドウ	120
マルチチャンネルビュー	100
名称入力	86

“メモリースティック” プレーヤーの
使い方 … 60

ヤ

夜画表示	44
------	----

ラ

ラジオの使い方	48
録音方式の設定	75

アルファベット

A

AUTO .P 49,98

C

CDチェンジャーの使い方 62

CDプレーヤーの使い方 51

Center Blendを調整する 32

Center Levelを調整する 33

COMPRESSIONを調整する 32

D

DISC RAND 63,65

DISC RPT 63,65

DISC SCAN 63,65

Dolby Pro Logicを設定する 31

DSP (音場) の設定 24

DVDビデオの特長 102

DVDプレーヤーの使い方 106

E

EQ (イコライザ) の調整 25

H

HOME 55

M

MDチェンジャーの使い方 64

MP3音質補正の設定
(MP3ハーモナイザー) ... 29

MP3について 56

MP3プレーヤーの使い方 53

MUSIC JUKEの使い方 80

MUSIC JUKEへの録音 77

P

POS 27

R

RAND 52,55,61,83

Rear Levelを調整する 33

RPT 52,55,61,83

S

SCAN 52,55,61,82

T

TV設定画面 100

TVを見る 97

V

VTRの使い方 119

MEMO

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸 (078) 671-5081



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。

©富士通テン株式会社 2003

090002-25830700
0306C (N)